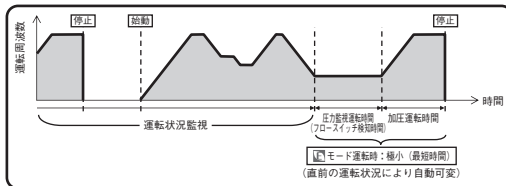
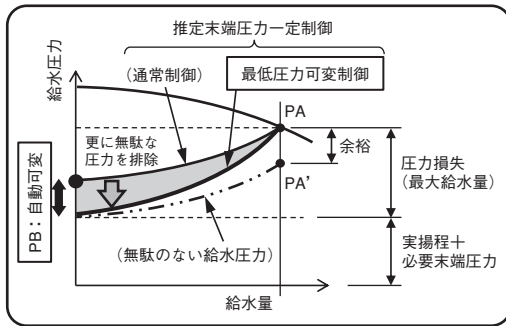
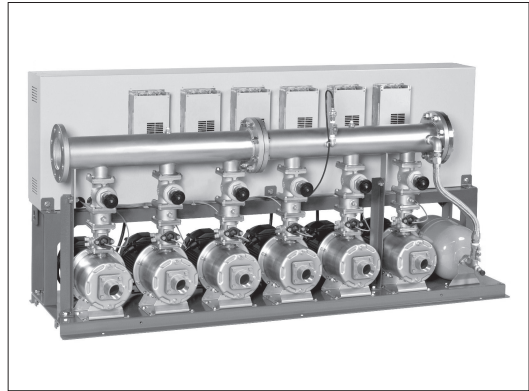


■特長

- ①省エネルギーを十分に発揮する推定末端圧力一定制御
 使用水量に応じ、配管抵抗分の圧力損失を加減し、吐出し圧力を変化させる制御方式で吐出し圧力一定制御より消費動力を更に小さくしました。
- ②NFCモード運転
 運転状態を監視して給水率が低く比較的小水量側での運転状態になると、最低圧力可変制御・新小水量停止制御で、無駄な圧力・運転時間を省き「更なる省エネ」を図ります。



- ③NFC通信機能フレッシュャーLINK
 コントローラにNFC通信機能を搭載。専用アプリ【フレッシュャーLINK】をインストールしたスマホで給水ユニットの運転状態が簡単に取得でき、視認性の向上、点検作業の効率化が計れます。
- ④ノイズ・高調波抑制&力率改善
 ノイズフィルタ、DCリアクトルを標準で内蔵しており、ノイズ、高調波を抑制し、トラブルを未然に防ぎます。また、DCリアクトルにより力率が85.5%以上となり、電気基本料金が5%割引になります。
- ⑤容易な施工・メンテナンス性
 ポンプごとに吐出し側仕切弁を標準装備。また、圧力タンクや圧力センサも取り外し易くなり、メンテナンス性が向上しました。また、吐出し方向は左右の選択が可能です。



- ⑥豊富な装備を標準搭載
 受水槽制御は設定コードの変更によって、多方式から選択でき、市水流入弁は、電磁弁の他に、標準で電動弁の対応が可能です。また、漏電遮断器をポンプごとに標準装備しています。
- ⑦保守管理が容易
 設定圧力は操作パネルで簡単入力。設定圧力に対応する使用最大水量は、学習による自動設定です。
- ⑧インバータに強制運転スイッチ搭載
 万が一、メイン基板が故障した場合でも、強制運転スイッチをONに切り替えるとインバータパネルからポンプを手動運転でき、給水を継続できます。
- ⑨配管方向を現場で選択可能
 吐出し方向は、現場納入後に左右いずれにも選択できるため、配管施工の自由度を向上します。
- ⑩バックアップ運転機能も充実
 ポンプ故障、インバータ故障の場合には、自動的に他のポンプ運転に切り替わり、万一の場合にも運転継続が可能です。更に、制御システムバックアップ仕様(特殊仕様)の場合、制御基板・圧力センサ故障時に自動で予備回路へ切り替わり、正常時と同様の運転を継続することができます。

推定末端
圧力一定

推定末端
圧力一定

■標準仕様

運 転 方 式	3台ローテーション		4台ローテーション		5台ローテーション		6台ローテーション		
	2台並列	3台並列	3台並列	4台並列	4台並列	5台並列	5台並列	6台並列	
ユ ニ ッ ト 型 式	BNEME型	BNLME型	BNGME型	BNKME型	BNNME型	BNVME型	BNWME型	BNYME型	
制 御 方 式	推定末端圧力一定制御/始動頻度過多防止の小水量停止制御/復電時昇圧速度抑制制御								
設 置	屋内(周囲温度0~40℃) *1								
取 扱 液	清水 0~40℃(pH5.8~8.6) *2 ※ 本ユニットは水道法による「給水装置の浸出性能基準」に適合します。								
吸 込 条 件 *3	吸上げ:吸込全揚程-6m、吸込実揚程-4.5m以内 流し込み:0.78-締切圧力 [MPa] (40-5.5, 50-5.5, 50-7.5, 口径65の各機種は0.98-締切圧力 [MPa]、40-7.5は0.05 [MPa])								
ポ ン プ	MDPE型ステンレス製多段渦巻ポンプ								
電 動 機	三相・2極 全閉外扇形・IP44(屋外) IE3(プレミアム効率) *4 *5								
使 用 電 源	三相・200V(50Hz)、200/220V(60Hz) *6 *7								
圧 力 タ ン ク	BT-10型(10Lダイヤフラムタンク)								
制 御 盤	主 要 機 器	インバータ(ポンプごと)、漏電遮断器(ポンプごと)、配線用遮断器(主幹)、DCリアクトル、誘導雷サージ吸収素子(主回路・操作回路の相間及び対地間、液面リレーの電極と対地間)、ノイズフィルタ							
	保 護 装 置	電子サーマル(インバータ内蔵/警報解除キーによる復帰)							
	通 常 表 示	7セグメントLED	吐出し圧力値*8、電源電圧値*8、ポンプ運転周波数値(ポンプごと)*8、ポンプ電流値(ポンプごと)*8、運転履歴(故障履歴)*9						
		その他	電源、運転表示(ポンプごと)、運転方式(自動一試験)、モード運転設定表示						
	警 報 表 示	7セグメントLED	インバータトリップ(ポンプごと)、漏電(ポンプごと)、吐出し圧力低下(ポンプごと)、ポンプ過熱(ポンプごと)、サーミスタ異常(ポンプごと)、フロースイッチ異常(ポンプごと)、インバータ通信異常(ポンプごと)、吐出し圧力センサ異常、電極異常、始動頻度異常、圧力タンク封入圧異常						
		その他	受水槽水位(満水/減水/渴水)警報、異常						
無線インターフェース	NFC通信(スマートフォン用専用アプリによる運転状態表示)								
外 部 出 力 (無電圧a接点)	ポンプ運転(一括)、ポンプ故障(一括)、受水槽警報(満水/減水/渴水) AC250V 1.0A (COSφ=0.4)								
流 入 弁 用 電 源	単相200V(No.1受水槽系、No.2受水槽系)								
外 部 入 力	システムインターロック(無電圧b接点)								
外 部 用 電 源	単相・200V(600VA)	単相・200V(800VA)	単相・200V(1000VA)	単相・200V(1200VA)					
外 観 色	マンセル 5Y7/1相当								

- *1 周囲温度0~40℃、相対湿度85%以下(結露しないこと)、標高1000m以下、腐食性及び爆発性ガス、蒸気がないこと。
 - *2 清水とは水道水、工業用水、井戸水で水温0~40℃、pH5.8~8.6、遊離残留塩素濃度1mg/L以下、塩素イオン濃度200mg/L以下、砂等の異物の混入がないものを意味します。
 - *3 ポンプの吸込全揚程は、水温20℃にて表示してあります。この場合と異なる場合、吸込性能が低下しますので、当社にご相談ください。
 - *4 三相0.75kW以上はトップランナーモータです。
 - *5 三相0.75kW未満はプレミアム効率相当(当社独自設定)電動機です。
 - *6 機種65BN-ME3.7Nは、50/60Hz共に三相・200V±5%となります。
 - *7 電圧変動:±5%以内・周波数変動:±2%以内・電圧、周波数の同時変動:双方絶対値の和が5%以内。
ただしいずれの場合も電動機の特長、温度上昇などは定格値に準じません。また、相間電圧の不均衡は2%以内です。
 - *8 「表示切替」キーを押すごとに切り替わります。
 - *9 操作パネルのキー操作により表示されます。
- 注1) 受水槽用電極及び流入弁は別途ご用意ください。
- 注2) フラッシュバルブ、電磁弁等の急激な流量変化を伴う機器をご使用の場合に、ポンプの能力が追い付かず、圧力低下を生じることがあります。このような場合には別途、水量に応じた容量の圧力タンクを設置するなどの対策を施してください。

■特殊仕様

- 塗装色指定
- 耐塩塗装仕様
- 圧力計・連成計付 (ポンプごと)
- BL認定仕様
- 呼水じょうご付
- 異電圧 (400V±5% : 50Hz、400/440V±5% : 60Hz)
※出力1.5kW以上が適用となります。また、流入弁電源・外部用電源が除外されます。
- 給湯加圧形 (Max. 80℃)
※流し込み運転だけの対応となります。また、BL認定仕様・屋外カバー付は対応できません。
- 制御システムバックアップ仕様

●制御盤バリエーション項目

記号	項目
F01	指定色
F05B	滅菌機回路付 三相200V 200W以下 注) F05Bは単相機種に適用できません。
F05C	滅菌機回路付 単相200V 75W以下
F08	警報ブザー端子付 (回転灯端子兼用)
F09	漏電遮断器警報無電圧端子付
F11A	警報用無電圧接点端子一組追加
F12A	有電圧外部接点端子付 AC200V
F30	耐塩塗装
F03A	流入電磁弁制御回路付 (異電圧機種) 注) 電磁弁電源はAC200Vとなります。
F13E	ヒータ用電源付 (異電圧機種) 注) ヒータ電源はAC200Vとなります。
F59	運転・故障ポンプ個別出力無電圧端子付

■特別附属品 (オプション)

●遠方監視器

- ・制御盤と同じ内容を遠方で監視できます。
- ・ブザー付/専用電源不要

適用	型式
全機種	FV1-RC1

●凍結防止ヒータ (ラバーヒータ)

BNEME・BNLME型 (ポンプ3台形)

適用	必要個数	型式
下記以外	1	RH-2E
5.5/7.5kW機種 型式65-3.7	1	RH-2EL

BNGME・BNKME型 (ポンプ4台形)

適用	必要個数	型式
下記以外	1	RH-2S
	1	RH-2E
5.5/7.5kW機種 型式65-3.7	1	RH-2SLA
	1	RH-2EL

●防振架台

注) 屋外カバー付の場合は、都度お問い合わせください。

BNEME・BNLME型 (ポンプ3台形)

適用	型式
下記以外	DAF3115C
5.5/7.5kW機種 型式65-3.7	DAF3155C

BNGME・BNKME型 (ポンプ4台形)

適用	型式
下記以外	DAF4175C
5.5/7.5kW機種 型式65-3.7	DAF4245C

BNNME・BNVME型 (ポンプ5台形)

適用	必要個数	型式
下記以外	2	RH-2S
	1	RH-2E
5.5/7.5kW機種 型式65-3.7	1	RH-2SL
	1	RH-2SLA
	1	RH-2EL

BNWME・BNYME型 (ポンプ6台形)

適用	必要個数	型式
下記以外	2	RH-2E
5.5/7.5kW機種 型式65-3.7	1	RH-2SL
	2	RH-2EL

BNNME・BNVME型 (ポンプ5台形)

適用	型式
下記以外	DAF5215C
5.5/7.5kW機種 型式65-3.7	DAF5295C

BNWME・BNYME型 (ポンプ6台形)

適用	型式
下記以外	DAF6185C
5.5/7.5kW機種 型式65-3.7	DAF6265C

附属品：機器取付ボルト (M12×65、6本)、他

●屋外カバー

- ・共通ベースに取付ける現地組立構造
- ・塗装色指定、ステンレス製仕様も対応致します。

BNEME・BNLME型 (ポンプ3台形)

適用	型式
下記以外	L
5.5/7.5kW機種	M1
型式65-3.7	MA1

BNNME・BNVME型 (ポンプ5台形)

適用	型式
下記以外	R
5.5/7.5kW機種	U1
型式65-3.7	UA1

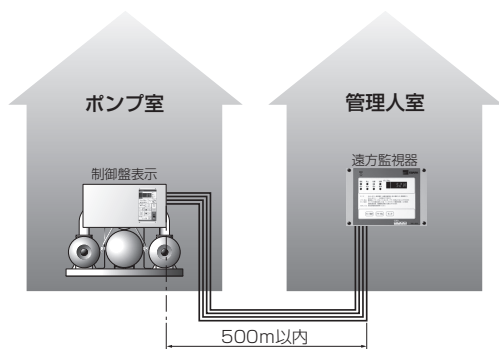
BNGME・BNKME型 (ポンプ4台形)

適用	型式
下記以外	N
5.5/7.5kW機種	P1
型式65-3.7	PA1

BNWME・BNYME型 (ポンプ6台形)

適用	型式
下記以外	W
5.5/7.5kW機種	Y1
型式65-3.7	YA1

■遠方監視器について



制御盤面と同じ内容を4線配線で遠方監視できます。
(専用電源不要、ブザー付、遠方500mまで可能。)

<表示内容>

①通常表示

デジタル：吐出し圧力値、電源電圧値、ポンプ運転周波数 (ポンプごと)、ポンプ運転電流値 (ポンプごと)、積算始動回数 (ポンプごと)、積算運転時間 (ポンプごと)、始動待機号機、受水槽及び流入弁表示、システムインターロック

LED：電源、運転表示 (自動、試験、運転、停止)

②故障表示

デジタル：インバータトリップ (ポンプごと)、漏電 (ポンプごと)、吐出し圧力低下 (ポンプごと)、ポンプ過熱 (ポンプごと)、サーミスタ異常 (ポンプごと)、フロースイッチ異常 (ポンプごと)、インバータ通信異常 (ポンプごと)、吐出し圧力センサ異常、電極異常、始動頻度異常、圧力タンク封入圧異常

LED：受水槽水位 (満水、減水、渴水) 警報、異常

■機名説明

40 BNEME 2.2 AN

① ② ③ ④

①吸込口径(mm) ②機種記号(型式)※

③呼び出力(kW) ④判別記号

※運転方式

BNEME：3台ローテーション2台並列運転方式

BNLME：3台ローテーション3台並列運転方式

BNGME：4台ローテーション3台並列運転方式

BNKME：4台ローテーション4台並列運転方式

BNNME：5台ローテーション4台並列運転方式

BNVME：5台ローテーション5台並列運転方式

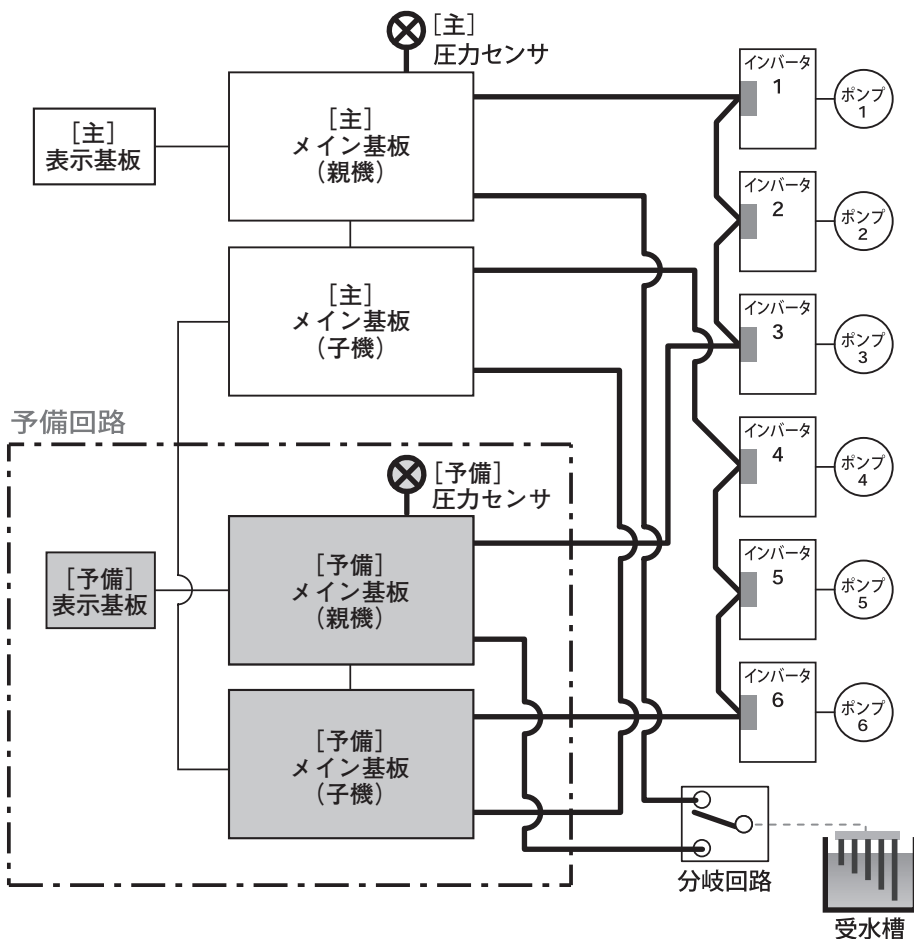
BNWME：6台ローテーション5台並列運転方式

BNYME：6台ローテーション6台並列運転方式

■制御システムバックアップ（特殊仕様）について

メイン基板や圧力センサに異常が発生した場合、自動で予備回路へ切り替わり、正常時と同様の推定末端圧力一定制御による自動給水を継続します。極力断水を回避し、より信頼性の高い給水が可能です。

●構成（ポンプ6台形）



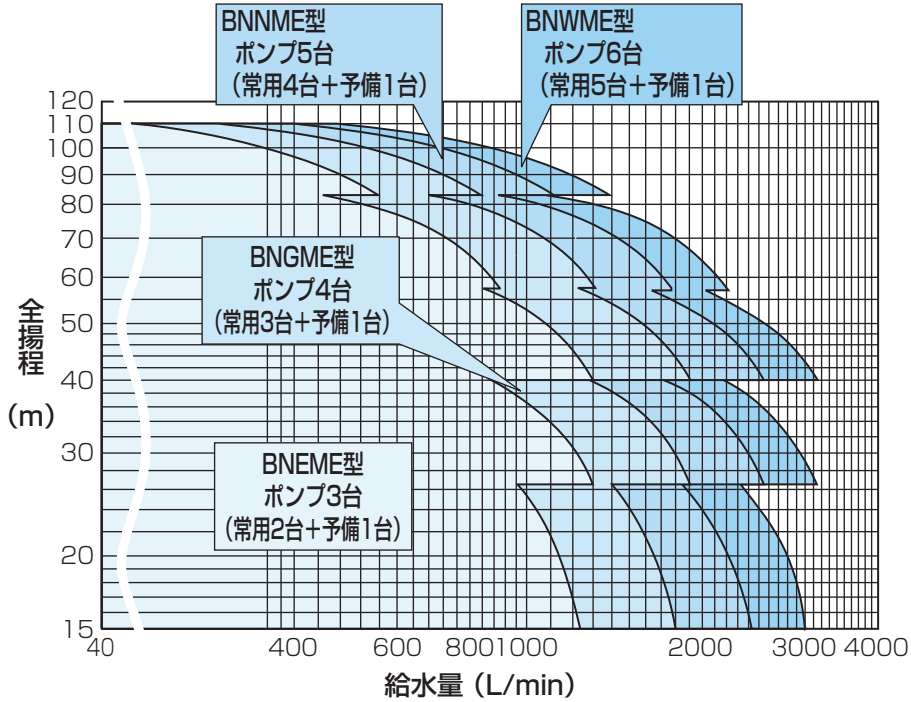
注) ----- 破線はお客様の接続範囲を示します。

●特長

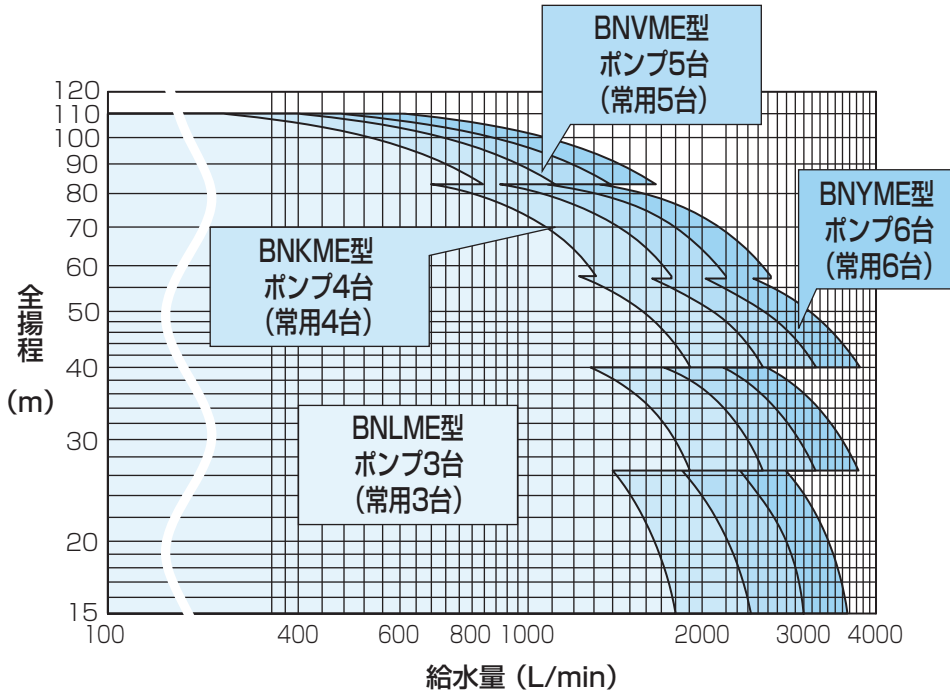
1. 下記のいずれかの異常を検知した場合、自動的に予備回路に切り替わります。
 - ・[主] メイン基板異常
 - ・[主] 圧力センサ異常
 - ・インバータ通信異常（[主] メイン基板（親機）と、1～3号機の全インバータ間の通信異常）
 - ・インバータ通信異常（[主] メイン基板（子機）と、4～6号機の全インバータ間の通信異常）
 - ・[主] メイン基板（親機）と、[主] メイン基板（子機）間の通信異常
 - ・[主] と [予備] のメイン基板間の通信異常
2. 自動運転を継続しながら、基板や圧力センサの交換が可能です。

■総合選定図

1台予備機付 総合選定図 (BNEME・BNGME・BNNME・BNWME型)



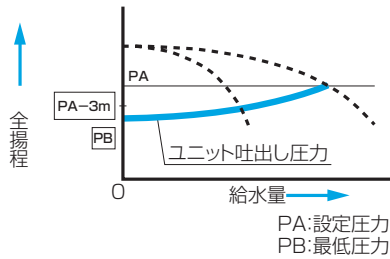
予備機なし 総合選定図 (BNLME・BNKME・BNVME・BNYME型)



3台ローテーション・2台並列運転形 BNEME型

■運転方式

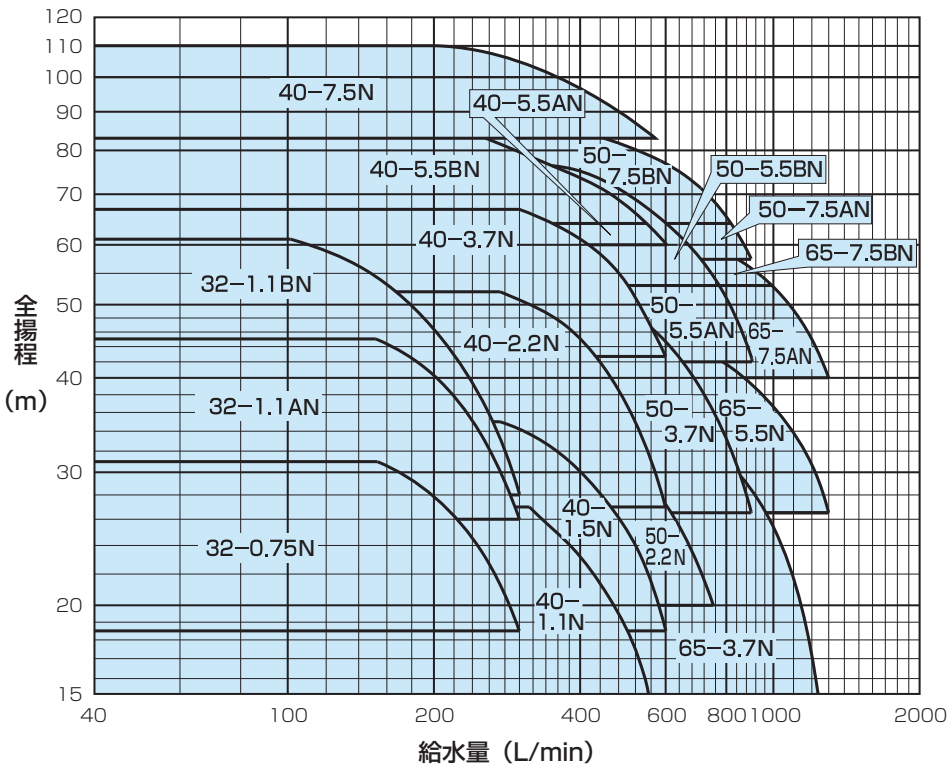
推定末端
圧力一定



- ①水を使用しないと、配管・圧力タンクはPAに加圧されポンプは停止しています。
- ②水を使用し、圧力がPA-3mまで低下すると、先発ポンプ(例: No.1ポンプ)が始動します。
- ③使用水量の増減によって、回転速度を制御し推定末端圧力一定制御を行います。
- ④使用水量が減少すると所定時間経過後、PAの圧力でポンプは的確に停止します。

- ⑤先発ポンプがローテーションし上記の運転を繰り返します。(例: No.1→No.2→No.3→No.1)
- ⑥使用水量が増大し、先発ポンプが最高回転速度に達すると、待機中の2台目のポンプ(例: No.2ポンプ)も始動し、推定末端圧力一定制御を行います。(例: No.1→No.1+No.2)
- ⑦使用水量が減少していくと後発ポンプが停止します。
- ⑧故障時切換
運転中に過負荷、吐出し圧力低下、漏電、インバータトリップを検知すると、自動的に待機中のポンプに切替え、バックアップ運転を行います。

■選定図 3台ローテーション・2台並列運転形 BNEME型



BL認定機種: 全機種 (BLマーク証紙貼付が必要な場合、その旨ご指示下さい。特殊仕様となります。)

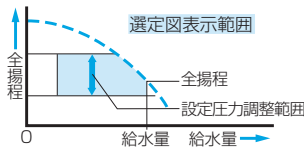
推定末端
圧力一定

■仕様表

呼び口径(mm) 吸込口径	吐出し口径	機名	相・電圧	呼び出力 kW	標準仕様		設定圧力調整範囲 MPa(kgf/cm ²)	圧力タンク封入圧力 MPa(kgf/cm ²)	使用ポンプ機名	騒音値 dB(A)	力率 %		
					給水量 L/min	全揚程 m							
32	50	32BNEME0.75N	三相 200/ 220V*	0.75×2	300	18.5	0.18~0.30{1.85~3.1}	0.098{1.0}	32MDPE26.75	54	87.6		
		26.0				0.25~0.44{2.6~4.5}	0.15{1.5}	32MDPE361.1					
		28.0				0.27~0.60{2.8~6.1}	0.25{2.5}	32MDPE561.1					
40	80	40BNEME1.1N		1.1×2	554	15.0	0.15~0.26{1.5~2.7}	0.098{1.0}	40MDPE261.1	51	89.9		
		18.5				0.18~0.34{1.85~3.5}	0.15{1.5}	40MDPE261.5					
		27.0		0.26~0.51{2.7~5.2}	0.20{2.0}	40MDPE362.2	56	90.7					
		42.5		0.42~0.66{4.25~6.7}	0.25{2.5}	40MDPE363.7B							
		60.0		0.59~0.63{6.0~6.4}	0.29{3.0}	40MDPE365.5	67	91.3					
		548		64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}			40MDPE467.5	68	91.1		
		750		83.0	0.81~1.08{8.3~11}								
		50		80	50BNEME2.2N	2.2×2	752	20.0	0.20~0.31{2.0~3.2}	0.098{1.0}	50MDPE262.2	59	88.8
					26.5			0.26~0.51{2.65~5.2}	0.20{2.0}	50MDPE263.7B			
			42.0		0.41~0.52{4.2~5.3}	0.29{3.0}	50MDPE365.5	68	91.3				
772	53.0		0.52~0.75{5.3~7.6}		0.49{5.0}	50MDPE367.5	73			91.1			
900	57.5		0.56~0.63{5.75~6.4}		0.29{3.0}								
820	64.0		0.63~0.81{6.4~8.3}		0.54{5.5}								
65	100		65BNEME3.7N		3.7×2	1236	15.0	0.15~0.36{1.5~3.7}	0.098{1.0}	65MDPE253.7	63	90.7	
			26.5				0.26~0.46{2.65~4.7}	0.15{1.5}	65MDPE265.5				
		40.0	0.39~0.52{4.0~5.3}	0.25{2.5}	65MDPE367.5	74	91.1						
		1000	53.0	0.52~0.63{5.3~6.4}	0.44{4.5}								

- 注) ①停止圧力は設定圧力を越えることはありません。
 ②*機種65BNEME3.7Nは、50/60Hz共に三相・200Vとなります。
 ③騒音値は工場の無響室の機側1mで測定した値です。現場での実際の騒音値は機器の据付け状態、床、天井、壁などの反射音、バルブ、配管の流水音が加わり上記の値より大きくなります。
 ④力率は最大回転速度（最大負荷時）の工場における測定値です。実際の現場では、電源側条件などにより変化する場合があります。

●選定図・仕様表の見方



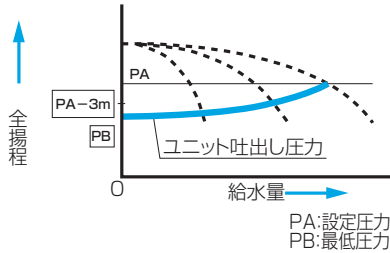
- ①全揚程は設定圧力調整範囲を表示しています。
 ②全揚程はポンプ性能よりフロースイッチ、チェック弁の損失水頭を引いたもので表示してあります。
 ③停止圧力は設定圧力を越えることはありません。
 ④表示圧力は吸込圧力0mの場合の値を示します。吸込側の条件により値は変わります。
 ⑤圧力0.098MPa {1kgf/cm²} は水頭10mに相当します。

■機器内訳

- ポンプ(3台) ●圧力タンク(ダイヤフラムタンク10L) ●フロースイッチ(3個) ●サーミスタ(3個)
- チェック弁(3個) ●圧力タンク用ボール弁 ●圧力センサ ●吐出し集管 ●仕切弁(3個) ●呼水栓(3個)
- ユニットベース ●制御盤 ●相フランジ

3台ローテーション・3台並列運転形 BNLME型

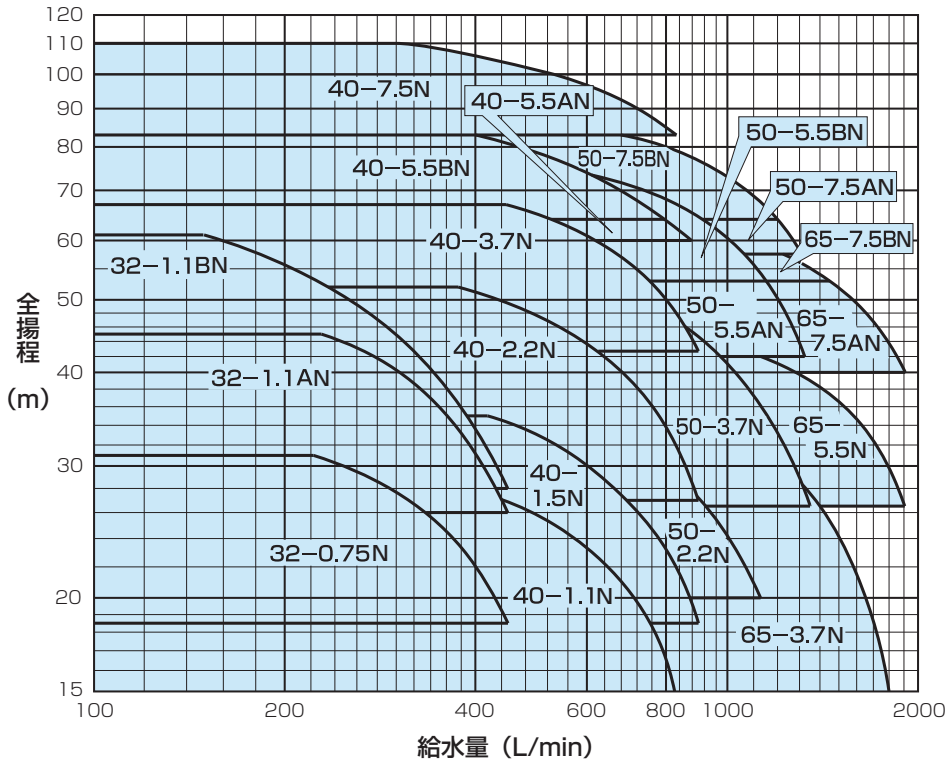
■運転方式



- ① 水を使用しないと、配管・圧力タンクはPAに加圧されポンプは停止しています。
- ② 水を使用し、圧力がPA-3mまで低下すると、先発ポンプ(例: No.1ポンプ)が始動します。
- ③ 使用水量の増減によって、回転速度を制御し推定末端圧力一定制御を行います。
- ④ 使用水量が減少すると所定時間経過後、PAの圧力でポンプは的確に停止します。

- ⑤ 先発ポンプがローテーションし、上記の運転を繰り返します。(例: No.1→No.2→No.3→No.1)
- ⑥ 使用水量が増大し、先発ポンプが最高回転速度に達すると、待機中の2台目のポンプ(例: No.2ポンプ)も始動します。更に使用水量が増大していくと最大3台までポンプが順次始動し、推定末端圧力一定制御を行います。
(例: No.1+No.2→No.1+No.2+No.3)
- ⑦ 使用水量が減少していくと後発ポンプが順次停止します。
- ⑧ 故障時切換
運転中に過負荷、吐出し圧力低下、漏電、インバータトリップを検知すると、自動的に待機中のポンプに切替え、バックアップ運転を行います。

■選定図 3台ローテーション・3台並列運転形 BNLME型



BL認定機種: 全機種 (BLマーク証紙貼付が必要な場合、その旨ご指示下さい。特殊仕様となります。)

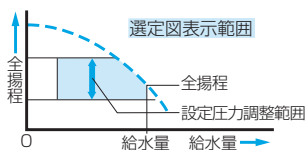
推定末端
圧力一定

■仕様表

呼び口径(mm) 吸込口径	吐出し口径	機名	相・電圧	呼び出力 kW	標準仕様		設定圧力調整範囲 MPa(kgf/cm ²)	圧力タンク封入圧力 MPa(kgf/cm ²)	使用ポンプ機名	騒音値 dB(A)	力率 %		
					給水量 L/min	全揚程 m							
32	50	32BNLME0.75N	三相200V/220V*	0.75×3	450	18.5	0.18~0.30{1.85~3.1}	0.098{1.0}	32MDPE26.75	56	87.6		
		32BNLME1.1AN		26.0		0.25~0.44{2.6~4.5}	0.15{1.5}	32MDPE361.1					
		32BNLME1.1BN		28.0		0.27~0.60{2.8~6.1}	0.25{2.5}	32MDPE561.1					
40	80	40BNLME1.1N		1.1×3	825	15.0	0.15~0.26{1.5~2.7}	0.098{1.0}	40MDPE261.1	53	89.9		
		40BNLME1.5N		18.5		0.18~0.34{1.85~3.5}	0.15{1.5}	40MDPE261.5					
		40BNLME2.2N		2.2×3	900	27.0	0.26~0.51{2.7~5.2}	0.20{2.0}	40MDPE362.2	58	90.7		
		40BNLME3.7N		3.7×3		42.5	0.42~0.66{4.25~6.7}	0.25{2.5}	40MDPE363.7B				
		40BNLME5.5AN		5.5×3	875	60.0	0.59~0.63{6.0~6.4}	0.29{3.0}	40MDPE365.5	69	91.3		
		40BNLME5.5BN			795	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}					
		40BNLME7.5N		7.5×3	828	83.0	0.81~1.08{8.3~11}		0.54{5.5}	40MDPE467.5	70	91.1	
		50		80	50BNLME2.2N	2.2×3	1128	20.0	0.20~0.31{2.0~3.2}	0.098{1.0}	50MDPE262.2	61	88.8
					50BNLME3.7N	3.7×3	1350	26.5	0.26~0.51{2.65~5.2}	0.20{2.0}	50MDPE263.7B	64	90.7
			50BNLME5.5AN		5.5×3	1325	42.0	0.41~0.52{4.2~5.3}	0.29{3.0}	50MDPE365.5	70	91.3	
50BNLME5.5BN	1152		53.0			0.52~0.75{5.3~7.6}	0.49{5.0}						
50BNLME7.5AN	7.5×3		1310		57.5	0.56~0.63{5.75~6.4}	0.29{3.0}	50MDPE367.5	75	91.1			
50BNLME7.5BN	1200		64.0		0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}							
65	100	65BNLME3.7N	3.7×3	1800	15.0	0.15~0.36{1.5~3.7}	0.098{1.0}	65MDPE253.7	65	90.7			
		65BNLME5.5N	5.5×3	1910	26.5	0.26~0.46{2.65~4.7}	0.15{1.5}	65MDPE265.5	72	91.9			
		65BNLME7.5AN	40.0		0.39~0.52{4.0~5.3}	0.25{2.5}							
		65BNLME7.5BN	7.5×3	1450	53.0	0.52~0.63{5.3~6.4}	0.44{4.5}	65MDPE367.5	76	91.1			

- 注) ①停止圧力は設定圧力を越えることはありません。
 ②*機種65BNLME3.7Nは、50/60Hz共に三相・200Vとなります。
 ③騒音値は工場の無響室の機側1mで測定した値です。現場での実際の騒音値は機器の据付け状態、床、天井、壁などの反射音、バルブ、配管の流水音加わり上記の値より大きくなります。
 ④力率は最大回転速度(最大負荷時)の工場における測定値です。実際の現場では、電源側条件などにより変化する場合があります。

●選定図・仕様表の見方



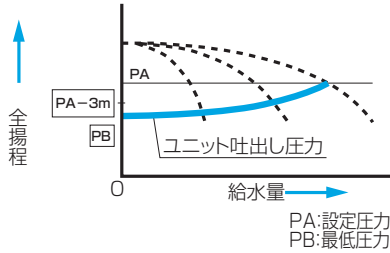
- ①全揚程は設定圧力調整範囲を表示しています。
 ②全揚程はポンプ性能よりフロースイッチ、チェック弁の損失水頭を引いたもので表示してあります。
 ③停止圧力は設定圧力を越えることはありません。
 ④表示圧力は吸込圧力0mの場合の値を示します。吸込側の条件により値は変わります。
 ⑤圧力0.098MPa {1kgf/cm²} は水頭10mに相当します。

■機器内訳

- ポンプ(3台) ●圧力タンク(ダイヤフラムタンク10L) ●フロースイッチ(3個) ●サーミスタ(3個)
- チェック弁(3個) ●圧力タンク用ボール弁 ●圧力センサ ●吐出し集管 ●仕切弁(3個) ●呼水栓(3個)
- ユニットベース ●制御盤 ●相フランジ

4台ローテーション・3台並列運転形 BNGME型

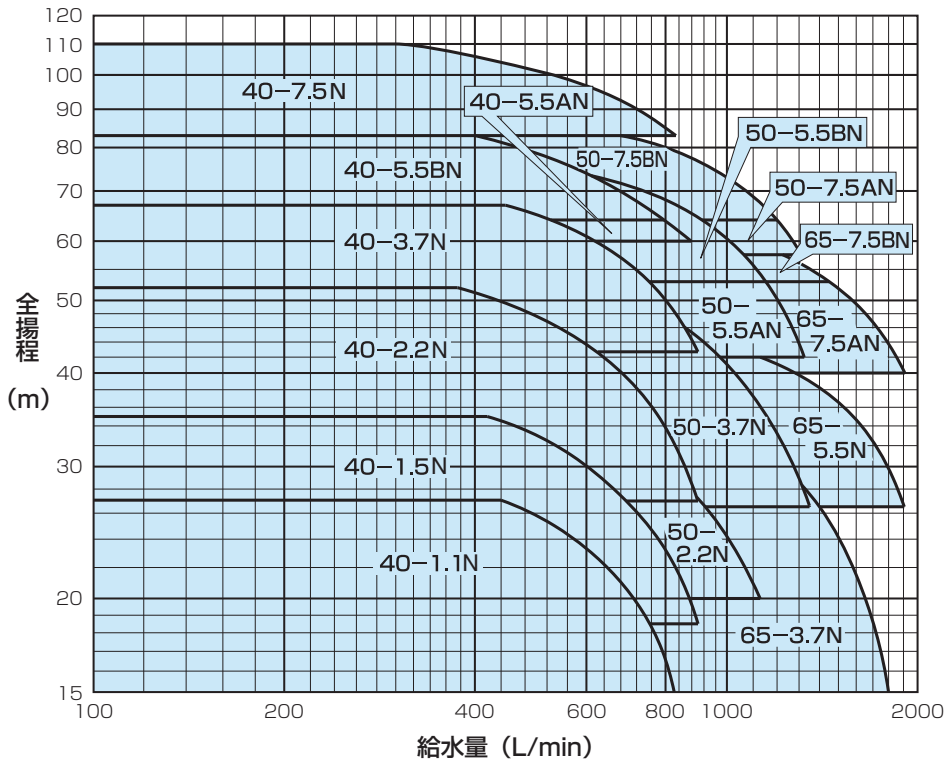
■運転方式



- ① 水を使用しないと、配管・圧力タンクはPAに加圧されポンプは停止しています。
- ② 水を使用し、圧力がPA-3mまで低下すると、先発ポンプ(例: No.1ポンプ)が始動します。
- ③ 使用水量の増減によって、回転速度を制御し推定末端圧力一定制御を行います。
- ④ 使用水量が減少すると所定時間経過後、PAの圧力でポンプは的確に停止します。

- ⑤ 先発ポンプがローテーションし、上記の運転を繰り返します。(例: No.1→No.2→No.3→No.4→No.1)
- ⑥ 使用水量が増大し、先発ポンプが最高回転速度に達すると、待機中の2台目のポンプ(例: No.2ポンプ)も始動します。更に使用水量が増大していくと最大3台までポンプが順次始動し、推定末端圧力一定制御を行います。
(例: No.1→No.1+No.2+No.3)
- ⑦ 使用水量が減少していくと後発ポンプが順次停止します。
- ⑧ 故障時切換
運転中に過負荷、吐出し圧力低下、漏電、インバータトリップを検知すると、自動的に待機中のポンプに切替え、バックアップ運転を行います。

■選定図 4台ローテーション・3台並列運転形 BNGME型



BL認定機種: 全機種 (BLマーク証紙貼付が必要な場合、その旨ご指示下さい。特殊仕様となります。)

推定末端
圧力一定

仕様表

呼び口径(mm) 吸込口径	吐出し口径	機名	相・電圧	呼び出力 kW	標準仕様		設定圧力調整範囲 MPa(kgf/cm ²)	圧力タンク封入圧力 MPa(kgf/cm ²)	使用ポンプ機名	騒音値 dB(A)	力率 %
					給水量 L/min	全揚程 m					
40	100	40BNGME1.1N	三相200/ 220V*	1.1×3	825	15.0	0.15~0.26{1.5~2.7}	0.098{1.0}	40MDPE261.1	53	89.9
		40BNGME1.5N		1.5×3	900	18.5	0.18~0.34{1.85~3.5}	0.15{1.5}	40MDPE261.5	57	86.9
		40BNGME2.2N		2.2×3	900	27.0	0.26~0.51{2.7~5.2}	0.20{2.0}	40MDPE362.2	58	88.8
		40BNGME3.7N		3.7×3	900	42.5	0.42~0.66{4.25~6.7}	0.25{2.5}	40MDPE363.7B		90.7
		40BNGME5.5AN		5.5×3	875	60.0	0.59~0.63{6.0~6.4}	0.29{3.0}	40MDPE365.5	69	91.3
		40BNGME5.5BN			795	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}		40MDPE467.5	70
		40BNGME7.5N		7.5×3	828	83.0	0.81~1.08{8.3~11}				
50	100	50BNGME2.2N		2.2×3	1128	20.0	0.20~0.31{2.0~3.2}	0.098{1.0}	50MDPE262.2	61	88.8
		50BNGME3.7N		3.7×3	1350	26.5	0.26~0.51{2.65~5.2}	0.20{2.0}	50MDPE263.7B	64	90.7
		50BNGME5.5AN		5.5×3	1325	42.0	0.41~0.52{4.2~5.3}	0.29{3.0}	50MDPE365.5	70	91.3
		50BNGME5.5BN			1152	53.0	0.52~0.75{5.3~7.6}	0.49{5.0}			
		50BNGME7.5AN		7.5×3	1310	57.5	0.56~0.63{5.75~6.4}	0.29{3.0}	50MDPE367.5	75	91.1
		50BNGME7.5BN			1200	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}			
65	125	65BNGME3.7N		3.7×3	1800	15.0	0.15~0.36{1.5~3.7}	0.098{1.0}	65MDPE253.7	65	90.7
		65BNGME5.5N	5.5×3	1910	26.5	0.26~0.46{2.65~4.7}	0.15{1.5}	65MDPE265.5	72	91.9	
		65BNGME7.5AN		7.5×3	1910	40.0	0.39~0.52{4.0~5.3}	0.25{2.5}	65MDPE367.5	76	91.1
		65BNGME7.5BN	1450		53.0	0.52~0.63{5.3~6.4}	0.44{4.5}				

推定末端
圧力一定

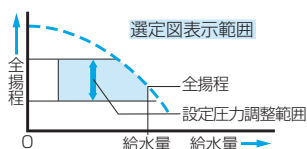
注) ①停止圧力は設定圧力を越えることはありません。

②*機種65BNGME3.7Nは、50/60Hz共に三相・200Vとなります。

③騒音値は工場の無響室の機側1mで測定した値です。現場での実際の騒音値は機器の据付け状態、床、天井、壁などの反射音、バルブ、配管の流水音が加わり上記の値より大きくなります。

④力率は最大回転速度(最大負荷時)の工場における測定値です。実際の現場では、電源側条件などにより変化する場合があります。

●選定図・仕様表の見方



①全揚程は設定圧力調整範囲を表示しています。

②全揚程はポンプ性能よりフロースイッチ、チェック弁の損失水頭を引いたもので表示してあります。

③停止圧力は設定圧力を越えることはありません。

④表示圧力は吸込圧力0mの場合の値を示します。吸込側の条件により値は変わります。

⑤圧力0.098MPa {1kgf/cm²} は水頭10mに相当します。

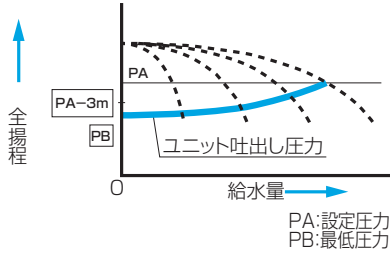
■機器内訳

- ポンプ(4台) ●圧力タンク(ダイヤフラムタンク10L) ●フロースイッチ(4個) ●サーミスタ(4個)
- チェック弁(4個) ●圧力タンク用ボール弁 ●圧力センサ ●吐出し集管 ●仕切弁(4個) ●呼水栓(4個)
- ユニットベース ●制御盤 ●相フランジ

4台ローテーション・4台並列運転形 BNKME型

■運転方式

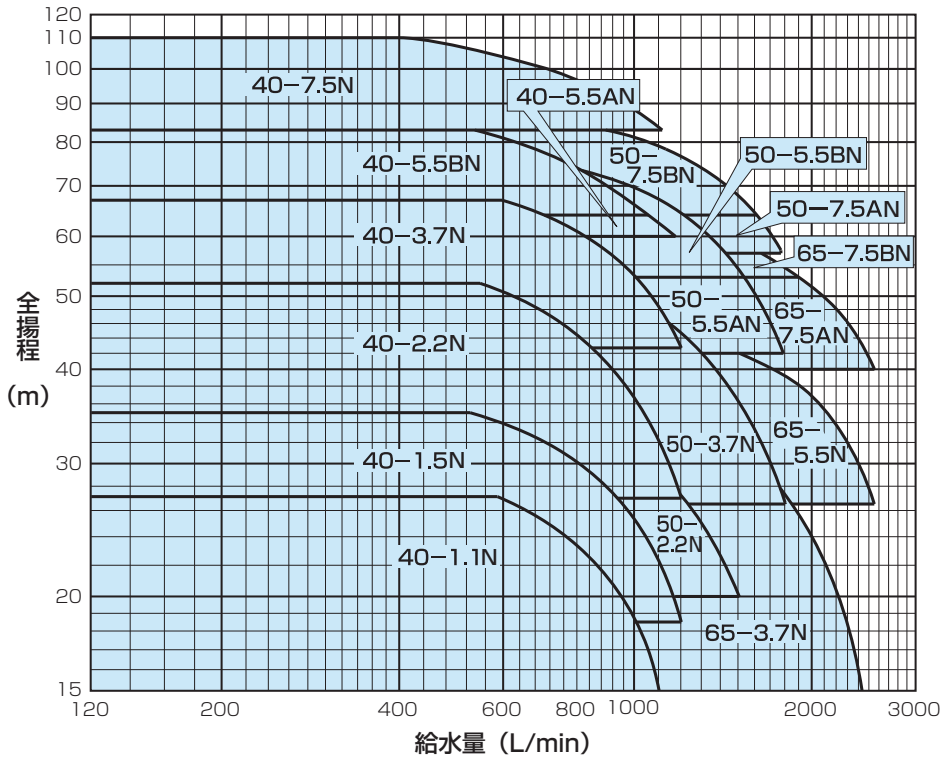
推定末端
圧力一定



- ① 水を使用しないと、配管・圧力タンクはPAに加圧されポンプは停止しています。
- ② 水を使用し、圧力がPA-3mまで低下すると、先発ポンプ(例: No.1ポンプ)が始動します。
- ③ 使用水量の増減によって、回転速度を制御し推定末端圧力一定制御を行います。
- ④ 使用水量が減少すると所定時間経過後、PAの圧力でポンプは的確に停止します。

- ⑤ 先発ポンプがローテーションし上記の運転を繰り返します。(例: No.1→No.2→No.3→No.4→No.1)
- ⑥ 使用水量が増大し、先発ポンプが最高回転速度に達すると、待機中の2台目のポンプ(例: No.2ポンプ)も始動します。更に使用水量が増大していくと最大4台までポンプが順次始動し、推定末端圧力一定制御を行います。
(例: No.1+No.2→No.1+No.2+No.3→No.1+No.2+No.3+No.4)
- ⑦ 使用水量が減少していくと後発ポンプが順次停止します。
- ⑧ 故障時切換
運転中に過負荷、吐出し圧力低下、漏電、インバータトリップを検知すると、自動的に待機中のポンプに切替え、バックアップ運転を行います。

■選定図 4台ローテーション・4台並列運転形 BNKME型



BL認定機種: 全機種 (BLマーク証紙貼付が必要な場合、その旨ご指示下さい。特殊仕様となります。)

仕様表

呼び口径(mm) 吸込口径	吐出し口径	機名	相・電圧	呼び出力 kW	標準仕様		設定圧力調整範囲 MPa(kgf/cm ²)	圧力タンク封入圧力 MPa(kgf/cm ²)	使用ポンプ機名	騒音値 dB(A)	力率 %
					給水量 L/min	全揚程 m					
40	100	40BNKME1.1N	三相 200/ 220V*	1.1×4	1100	15.0	0.15~0.26{1.5~2.7}	0.098{1.0}	40MDPE261.1	54	89.9
		40BNKME1.5N		1.5×4	18.5	0.18~0.34{1.85~3.5}	0.15{1.5}	40MDPE261.5	58	86.9	
		40BNKME2.2N		2.2×4	1200	27.0	0.26~0.51{2.7~5.2}	0.20{2.0}	40MDPE362.2	59	88.8
		40BNKME3.7N		3.7×4	42.5	0.42~0.66{4.25~6.7}	0.25{2.5}	40MDPE363.7B	90.7		
		40BNKME5.5AN		5.5×4	1170	60.0	0.59~0.63{6.0~6.4}	0.29{3.0}	40MDPE365.5	70	91.3
		40BNKME5.5BN			1060	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}		40MDPE467.5	71
		40BNKME7.5N		7.5×4	1104	83.0	0.81~1.08{8.3~11}				
50	100	50BNKME2.2N		2.2×4	1504	20.0	0.20~0.31{2.0~3.2}	0.098{1.0}	50MDPE262.2	62	88.8
		50BNKME3.7N		3.7×4	1800	26.5	0.26~0.51{2.65~5.2}	0.20{2.0}	50MDPE263.7B	65	90.7
		50BNKME5.5AN		5.5×4	1790	42.0	0.41~0.52{4.2~5.3}	0.29{3.0}	50MDPE365.5	71	91.3
		50BNKME5.5BN			1535	53.0	0.52~0.75{5.3~7.6}	0.49{5.0}			
		50BNKME7.5AN		7.5×4	1770	57.5	0.56~0.63{5.75~6.4}	0.29{3.0}	50MDPE367.5	76	91.1
		50BNKME7.5BN			1610	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}			
		65		125	65BNKME3.7N	3.7×4	2430	15.0	0.15~0.36{1.5~3.7}	0.098{1.0}	65MDPE253.7
65BNKME5.5N	5.5×4		2550		26.5	0.26~0.46{2.65~4.7}	0.15{1.5}	65MDPE265.5	73	91.9	
65BNKME7.5AN					40.0	0.39~0.52{4.0~5.3}	0.25{2.5}	65MDPE367.5	77	91.1	
65BNKME7.5BN	7.5×4		1900		53.0	0.52~0.63{5.3~6.4}	0.44{4.5}				

推定末端
圧力一定

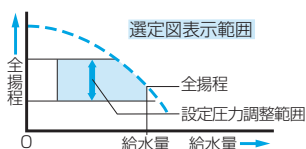
注) ①停止圧力は設定圧力を越えることはありません。

②*機種65BNKME3.7Nは、50/60Hz共に三相・200Vとなります。

③騒音値は工場の無響室の機側1mで測定した値です。現場での実際の騒音値は機器の据付け状態、床、天井、壁などの反射音、バルブ、配管の流水音が加わり上記の値より大きくなります。

④力率は最大回転速度(最大負荷時)の工場における測定値です。実際の現場では、電源側条件などにより変化する場合があります。

●選定図・仕様表の見方



①全揚程は設定圧力調整範囲を表示しています。

②全揚程はポンプ性能よりフロースイッチ、チェック弁の損失水頭を引いたもので表示してあります。

③停止圧力は設定圧力を越えることはありません。

④表示圧力は吸込圧力0mの場合の値を示します。吸込側の条件により値は変わります。

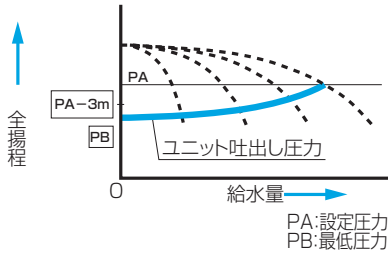
⑤圧力0.098MPa {1kgf/cm²} は水頭10mに相当します。

■機器内訳

- ポンプ(4台) ●圧力タンク(ダイヤフラムタンク10L) ●フロースイッチ(4個) ●サーミスタ(4個)
- チェック弁(4個) ●圧力タンク用ボール弁 ●圧力センサ ●吐出し集合管 ●仕切弁(4個) ●呼水栓(4個)
- ユニットベース ●制御盤 ●相フランジ

5台ローテーション・4台並列運転形 BNNME型

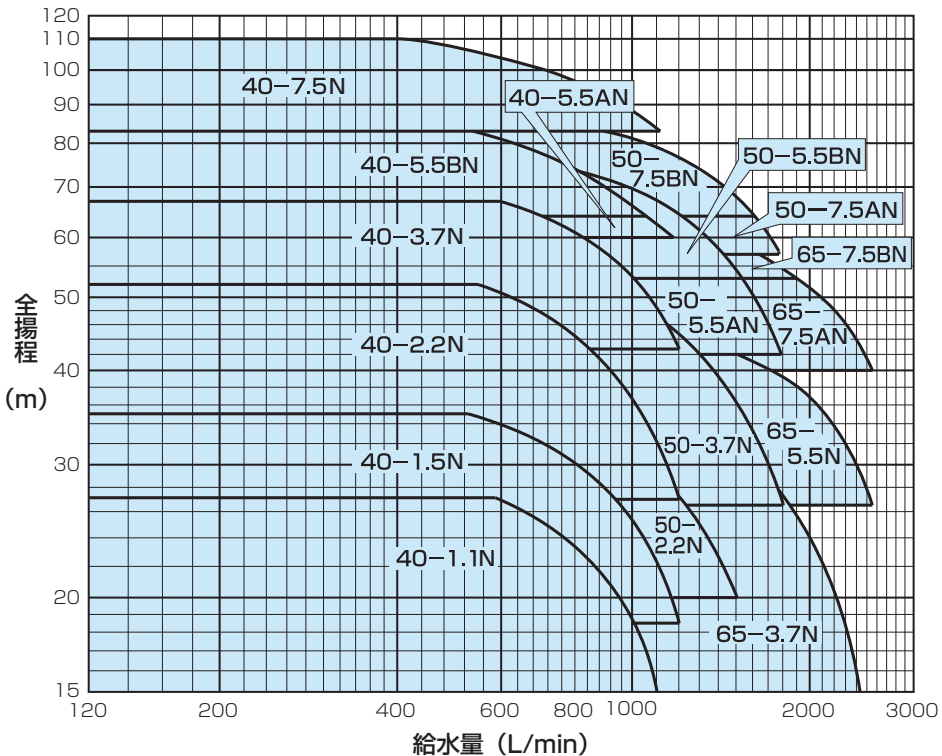
■運転方式



- ① 水を使用しないと、配管・圧力タンクはPAに加圧されポンプは停止しています。
- ② 水を使用し、圧力がPA-3mまで低下すると、先発ポンプ(例: No.1ポンプ)が始動します。
- ③ 使用水量の増減によって、回転速度を制御し推定末端圧力一定制御を行います。
- ④ 使用水量が減少すると所定時間経過後、PAの圧力でポンプは的確に停止します。

- ⑤ 先発ポンプがローテーションし、上記の運転を繰り返します。(例: No.1→No.2→No.3→No.4→No.5→No.1)
- ⑥ 使用水量が増大し、先発ポンプが最高回転速度に達すると、待機中の2台目のポンプ(例: No.2ポンプ)も始動します。更に使用水量が増大していくと最大4台までポンプが順次始動し、推定末端圧力一定制御を行います。
(例: No.1+No.2→No.1+No.2+No.3→No.1+No.2+No.3+No.4)
- ⑦ 使用水量が減少していくと後発ポンプが順次停止します。
- ⑧ 故障時切換
運転中に過負荷、吐出し圧力低下、漏電、インバータトリップを検知すると、自動的に待機中のポンプに切替え、バックアップ運転を行います。

■選定図 5台ローテーション・4台並列運転形 BNNME型



BL認定機種：全機種（BLマーク証紙貼付が必要な場合、その旨ご指示下さい。特殊仕様となります。）

推定末端
圧力一定

仕様表

呼び口径(mm) 吸込口径	吐出し口径	機名	相・電圧	呼び出力 kW	標準仕様		設定圧力調整範囲 MPa(kgf/cm ²)	圧力タンク封入圧力 MPa(kgf/cm ²)	使用ポンプ機名	騒音値 dB(A)	力率 %
					給水量 L/min	全揚程 m					
40	100	40BNNME1.1N	三相 200/ 220V*	1.1×4	1100	15.0	0.15~0.26{1.5~2.7}	0.098{1.0}	40MDPE261.1	54	89.9
		40BNNME1.5N		1.5×4	18.5	0.18~0.34{1.85~3.5}	0.15{1.5}	40MDPE261.5	58	86.9	
		40BNNME2.2N		2.2×4	1200	27.0	0.26~0.51{2.7~5.2}	0.20{2.0}	40MDPE362.2	59	88.8
		40BNNME3.7N		3.7×4	42.5	0.42~0.66{4.25~6.7}	0.25{2.5}	40MDPE363.7B	90.7		
		40BNNME5.5AN		5.5×4	1170	60.0	0.59~0.63{6.0~6.4}	0.29{3.0}	40MDPE365.5	70	91.3
		40BNNME5.5BN			1060	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}		40MDPE467.5	71
		40BNNME7.5N		7.5×4	1104	83.0	0.81~1.08{8.3~11}				
50	100	50BNNME2.2N		2.2×4	1504	20.0	0.20~0.31{2.0~3.2}	0.098{1.0}	50MDPE262.2	62	88.8
		50BNNME3.7N		3.7×4	1800	26.5	0.26~0.51{2.65~5.2}	0.20{2.0}	50MDPE263.7B	65	90.7
		50BNNME5.5AN		5.5×4	1790	42.0	0.41~0.52{4.2~5.3}	0.29{3.0}	50MDPE365.5	71	91.3
		50BNNME5.5BN			1535	53.0	0.52~0.75{5.3~7.6}	0.49{5.0}			
		50BNNME7.5AN		7.5×4	1770	57.5	0.56~0.63{5.75~6.4}	0.29{3.0}	50MDPE367.5	76	91.1
		50BNNME7.5BN			1610	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}			
		65		125	65BNNME3.7N	3.7×4	2430	15.0	0.15~0.36{1.5~3.7}	0.098{1.0}	65MDPE253.7
65BNNME5.5N	5.5×4		2550		26.5	0.26~0.46{2.65~4.7}	0.15{1.5}	65MDPE265.5	73	91.9	
65BNNME7.5AN					40.0	0.39~0.52{4.0~5.3}	0.25{2.5}	65MDPE367.5	77	91.1	
65BNNME7.5BN	7.5×4		1900		53.0	0.52~0.63{5.3~6.4}	0.44{4.5}				

推定末端
圧力一定

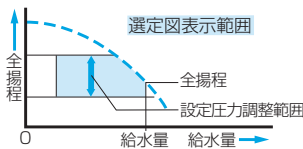
注) ①停止圧力は設定圧力を越えることはありません。

②*機種65BNNME3.7Nは、50/60Hz共に三相・200Vとなります。

③騒音値は工場の無響室の機側1mで測定した値です。現場での実際の騒音値は機器の据付け状態、床、天井、壁などの反射音、バルブ、配管の流水音が加わり上記の値より大きくなります。

④力率は最大回転速度(最大負荷時)の工場における測定値です。実際の現場では、電源側条件などにより変化する場合があります。

●選定図・仕様表の見方



①全揚程は設定圧力調整範囲を表示しています。

②全揚程はポンプ性能よりフロースイッチ、チェック弁の損失水頭を引いたもので表示してあります。

③停止圧力は設定圧力を越えることはありません。

④表示圧力は吸込圧力0mの場合の値を示します。吸込側の条件により値は変わります。

⑤圧力0.098MPa {1kgf/cm²} は水頭10mに相当します。

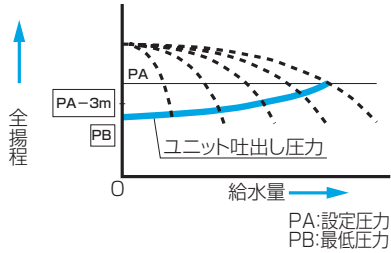
●機器内訳

- ポンプ(5台) ●圧力タンク(ダイヤフラムタンク10L) ●フロースイッチ(5個) ●サーミスタ(5個)
- チェック弁(5個) ●圧力タンク用ボール弁 ●圧力センサ ●吐出し集合管 ●仕切弁(5個) ●呼水栓(5個)
- ユニットベース ●制御盤 ●相フランジ

5台ローテーション・5台並列運転形 BNVME型

■運転方式

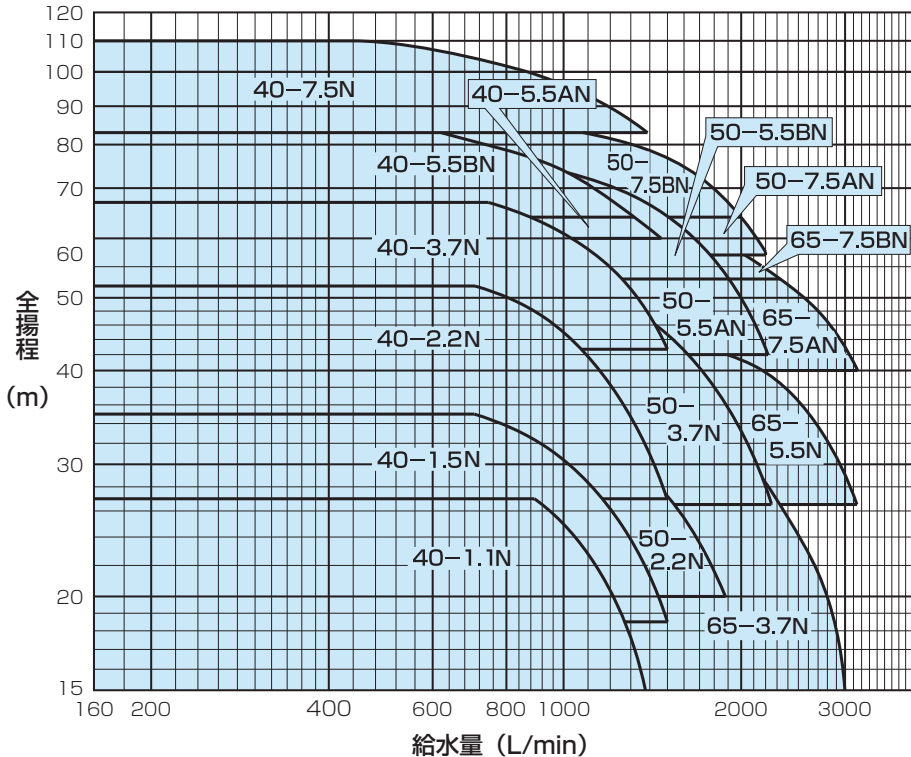
推定末端
圧力一定



- ① 水を使用しないと、配管・圧力タンクはPAに加圧されポンプは停止しています。
- ② 水を使用し、圧力がPA-3mまで低下すると、先発ポンプ(例: No.1ポンプ)が始動します。
- ③ 使用水量の増減によって、回転速度を制御し推定末端圧力一定制御を行います。
- ④ 使用水量が減少すると所定時間経過後、PAの圧力でポンプは的確に停止します。

- ⑤ 先発ポンプがローテーションし上記の運転を繰り返します。(例: No.1→No.2→No.3→No.4→No.5→No.1)
- ⑥ 使用水量が増大し、先発ポンプが最高回転速度に達すると、待機中の2台目のポンプ(例: No.2ポンプ)も始動します。更に使用水量が増大していくと最大5台までポンプが順次始動し、推定末端圧力一定制御を行います。
(例: No.1+No.2→No.1+No.2+No.3→No.1+No.2+No.3+No.4→No.1+No.2+No.3+No.4+No.5)
- ⑦ 使用水量が減少していくと後発ポンプが順次停止します。
- ⑧ 故障時切換
運転中に過負荷、吐出し圧力低下、漏電、インバータトリップを検知すると、自動的に待機中のポンプに切替え、バックアップ運転を行います。

■選定図 5台ローテーション・5台並列運転形 BNVME型



BL認定機種：全機種 (BLマーク証紙貼付が必要な場合、その旨ご指示下さい。特殊仕様となります。)

推定末端
圧力一定

■仕様表

呼び口径(mm)	吸込口径	吐出し口径	機名	相・電圧	呼び出力 kW	標準仕様		設定圧力調整範囲 MPa(kgf/cm ²)	圧力タンク封入圧力 MPa(kgf/cm ²)	使用ポンプ機名	騒音値 dB(A)	力率 %
						給水量 L/min	全揚程 m					
40	100		40BNVME1.1N	三相200/ 220V*	1.1×5	1375	15.0	0.15~0.26{1.5~2.7}	0.098{1.0}	40MDPE261.1	55	89.9
			40BNVME1.5N		1.5×5		18.5	0.18~0.34{1.85~3.5}	0.15{1.5}	40MDPE261.5	59	86.9
			40BNVME2.2N		2.2×5	1500	27.0	0.26~0.51{2.7~5.2}	0.20{2.0}	40MDPE362.2	60	88.8
			40BNVME3.7N		3.7×5		42.5	0.42~0.66{4.25~6.7}	0.25{2.5}	40MDPE363.7B		90.7
			40BNVME5.5AN		5.5×5	1460	60.0	0.59~0.63{6.0~6.4}	0.29{3.0}	40MDPE365.5	71	91.3
			40BNVME5.5BN			1320	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}				
			40BNVME7.5N		7.5×5	1375	83.0	0.81~1.08{8.3~11}	0.54{5.5}	40MDPE467.5	72	91.1
50			50BNVME2.2N	三相200/ 220V*	2.2×5	1880	20.0	0.20~0.31{2.0~3.2}	0.098{1.0}	50MDPE262.2	63	88.8
			50BNVME3.7N		3.7×5	2250	26.5	0.26~0.51{2.65~5.2}	0.20{2.0}	50MDPE263.7B	66	90.7
			50BNVME5.5AN		5.5×5	2220	42.0	0.41~0.52{4.2~5.3}	0.29{3.0}	50MDPE365.5	72	91.3
			50BNVME5.5BN			1905	53.0	0.52~0.75{5.3~7.6}	0.49{5.0}			
			50BNVME7.5AN		7.5×5	2200	57.5	0.56~0.63{5.75~6.4}	0.29{3.0}	50MDPE367.5	77	91.1
			50BNVME7.5BN			2000	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}			
65	125		65BNVME3.7N	三相200/ 220V*	3.7×5	3000	15.0	0.15~0.36{1.5~3.7}	0.098{1.0}	65MDPE253.7	67	90.7
			65BNVME5.5N		5.5×5	3140	26.5	0.26~0.46{2.65~4.7}	0.15{1.5}	65MDPE265.5	74	91.9
			65BNVME7.5AN		7.5×5	3150	40.0	0.39~0.52{4.0~5.3}	0.25{2.5}	65MDPE367.5	78	91.1
			65BNVME7.5BN			2330	53.0	0.52~0.63{5.3~6.4}	0.44{4.5}			

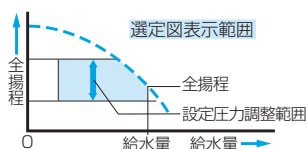
注) ①停止圧力は設定圧力を越えることはありません。

②*機種65BNVME3.7Nは、50/60Hz共に三相・200Vとなります。

③騒音値は工場の無響室の機側1mで測定した値です。現場での実際の騒音値は機器の据付け状態、床、天井、壁などの反射音、バルブ、配管の流水音が加わり上記の値より大きくなります。

④力率は最大回転速度（最大負荷時）の工場における測定値です。実際の現場では、電源側条件などにより変化する場合があります。

●選定図・仕様表の見方



①全揚程は設定圧力調整範囲を表示しています。

②全揚程はポンプ性能よりフロースイッチ、チェック弁の損失水頭を引いたもので表示してあります。

③停止圧力は設定圧力を越えることはありません。

④表示圧力は吸込圧力0mの場合の値を示します。吸込側の条件により値は変わります。

⑤圧力0.098MPa {1kgf/cm²} は水頭10mに相当します。

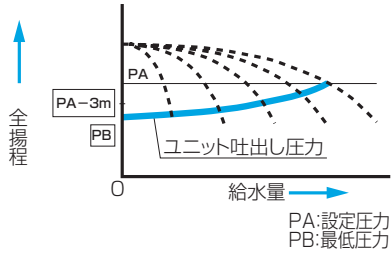
■機器内訳

- ポンプ(5台) ●圧力タンク(ダイヤフラムタンク10L) ●フロースイッチ(5個) ●サーミスタ(5個)
- チェック弁(5個) ●圧力タンク用ボール弁 ●圧力センサ ●吐出し集合管 ●仕切弁(5個) ●呼水栓(5個)
- ユニットベース ●制御盤 ●相フランジ

6台ローテーション・5台並列運転形 BNWME型

■運転方式

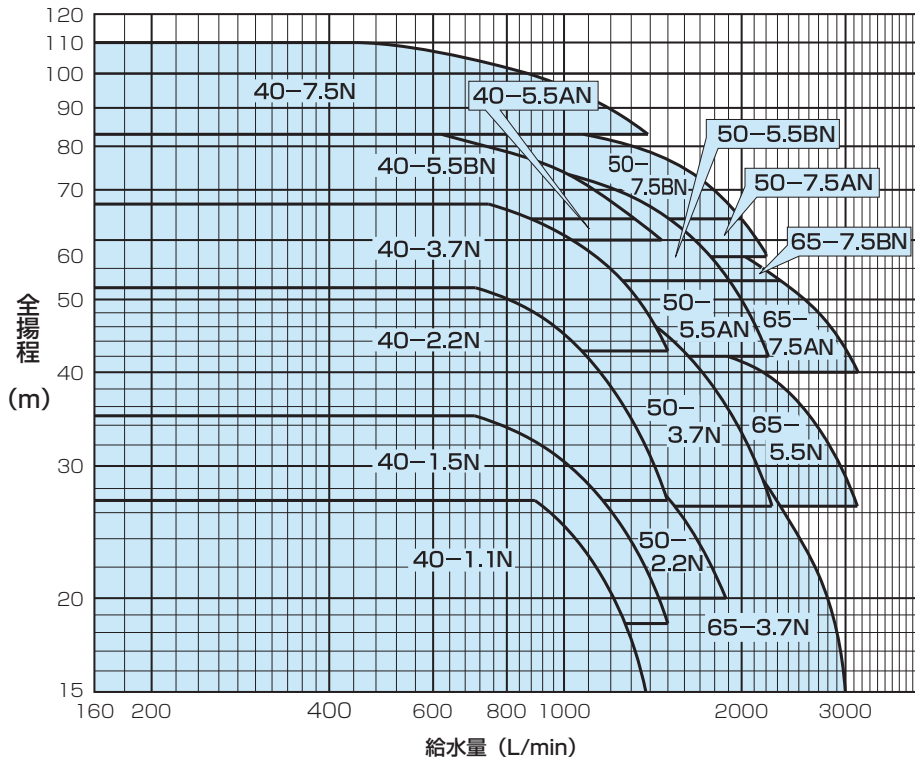
推定末端
圧力一定



- ① 水を使用しないと、配管・圧力タンクはPAに加圧されポンプは停止しています。
- ② 水を使用し、圧力がPA-3mまで低下すると、先発ポンプ(例: No.1ポンプ)が始動します。
- ③ 使用水量の増減によって、回転速度を制御し推定末端圧力一定制御を行います。
- ④ 使用水量が減少すると所定時間経過後、PAの圧力でポンプは的確に停止します。

- ⑤ 先発ポンプがローテーションし上記の運転を繰り返します。(例: No.1→No.2→No.3→No.4→No.5→No.6→No.1)
- ⑥ 使用水量が増大し、先発ポンプが最高回転速度に達すると、待機中の2台目のポンプ(例: No.2ポンプ)も始動します。更に使用水量が増大していくと最大5台までポンプが順次始動し、推定末端圧力一定制御を行います。
(例: No.1+No.2→No.1+No.2+No.3→No.1+No.2+No.3+No.4→No.1+No.2+No.3+No.4+No.5)
- ⑦ 使用水量が減少していくと後発ポンプが順次停止します。
- ⑧ 故障時切換
運転中に過負荷、吐出し圧力低下、漏電、インバータトリップを検知すると、自動的に待機中のポンプに切替え、バックアップ運転を行います。

■選定図 6台ローテーション・5台並列運転形 BNWME型



BL認定機種: 全機種 (BLマーク証紙貼付が必要な場合、その旨ご指示下さい。特殊仕様となります。)

仕様表

呼び口径(mm) 吸込口径	吐出し口径	機名	相・電圧	呼び出力 kW	標準仕様		設定圧力調整範囲 MPa(kgf/cm ²)	圧力タンク封入圧力 MPa(kgf/cm ²)	使用ポンプ機名	騒音値 dB(A)	力率 %
					給水量 L/min	全揚程 m					
40	100	40BNWME1.1N	三相200/ 220V*	1.1×5	1375	15.0	0.15~0.26{1.5~2.7}	0.098{1.0}	40MDPE261.1	55	89.9
		40BNWME1.5N		1.5×5	18.5	0.18~0.34{1.85~3.5}	0.15{1.5}	40MDPE261.5	59	86.9	
		40BNWME2.2N		2.2×5	1500	27.0	0.26~0.51{2.7~5.2}	0.20{2.0}	40MDPE362.2	60	88.8
		40BNWME3.7N		3.7×5	42.5	0.42~0.66{4.25~6.7}	0.25{2.5}	40MDPE363.7B	90.7		
		40BNWME5.5AN		5.5×5	1460	60.0	0.59~0.63{6.0~6.4}	0.29{3.0}	40MDPE365.5	71	91.3
		40BNWME5.5BN			1320	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}	40MDPE467.5	72	91.1
		40BNWME7.5N		7.5×5	1375	83.0	0.81~1.08{8.3~11}				
50	100	50BNWME2.2N	三相200/ 220V*	2.2×5	1880	20.0	0.20~0.31{2.0~3.2}	0.098{1.0}	50MDPE262.2	63	88.8
		50BNWME3.7N		3.7×5	2250	26.5	0.26~0.51{2.65~5.2}	0.20{2.0}	50MDPE263.7B	66	90.7
		50BNWME5.5AN		5.5×5	2220	42.0	0.41~0.52{4.2~5.3}	0.29{3.0}	50MDPE365.5	72	91.3
		50BNWME5.5BN			1905	53.0	0.52~0.75{5.3~7.6}	0.49{5.0}			
		50BNWME7.5AN		7.5×5	2200	57.5	0.56~0.63{5.75~6.4}	0.29{3.0}	50MDPE367.5	77	91.1
		50BNWME7.5BN			2000	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}			
65	125	65BNWME3.7N	三相200/ 220V*	3.7×5	3000	15.0	0.15~0.36{1.5~3.7}	0.098{1.0}	65MDPE253.7	67	90.7
		65BNWME5.5N		5.5×5	3140	26.5	0.26~0.46{2.65~4.7}	0.15{1.5}	65MDPE265.5	74	91.9
		65BNWME7.5AN		7.5×5	3150	40.0	0.39~0.52{4.0~5.3}	0.25{2.5}	65MDPE367.5	78	91.1
		65BNWME7.5BN			2330	53.0	0.52~0.63{5.3~6.4}	0.44{4.5}			

推定末端
圧力一定

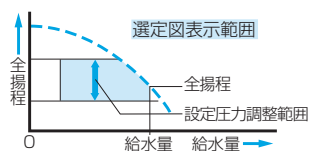
注) ①停止圧力は設定圧力を越えることはありません。

②*機種65BNWME3.7Nは、50/60Hz共に三相・200Vとなります。

③騒音値は工場の無響室の機側1mで測定した値です。現場での実際の騒音値は機器の据付け状態、床、天井、壁などの反射音、バルブ、配管の流水音が加わり上記の値より大きくなります。

④力率は最大回転速度(最大負荷時)の工場における測定値です。実際の現場では、電源側条件などにより変化する場合があります。

●選定図・仕様表の見方



①全揚程は設定圧力調整範囲を表示しています。

②全揚程はポンプ性能よりフロースイッチ、チェック弁の損失水頭を引いたもので表示してあります。

③停止圧力は設定圧力を越えることはありません。

④表示圧力は吸込圧力0mの場合の値を示します。吸込側の条件により値は変わります。

⑤圧力0.098MPa {1kgf/cm²} は水頭10mに相当します。

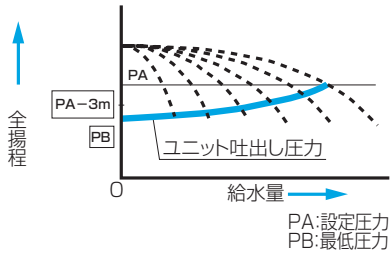
■機器内訳

- ポンプ(6台) ●圧力タンク(ダイヤフラムタンク10L) ●フロースイッチ(6個) ●サーミスタ(6個)
- チェック弁(6個) ●圧力タンク用ボール弁 ●圧力センサ ●吐出し集合管 ●仕切弁(6個) ●呼水栓(6個)
- ユニットベース ●制御盤 ●相フランジ

6台ローテーション・6台並列運転形 BNYME型

■運転方式

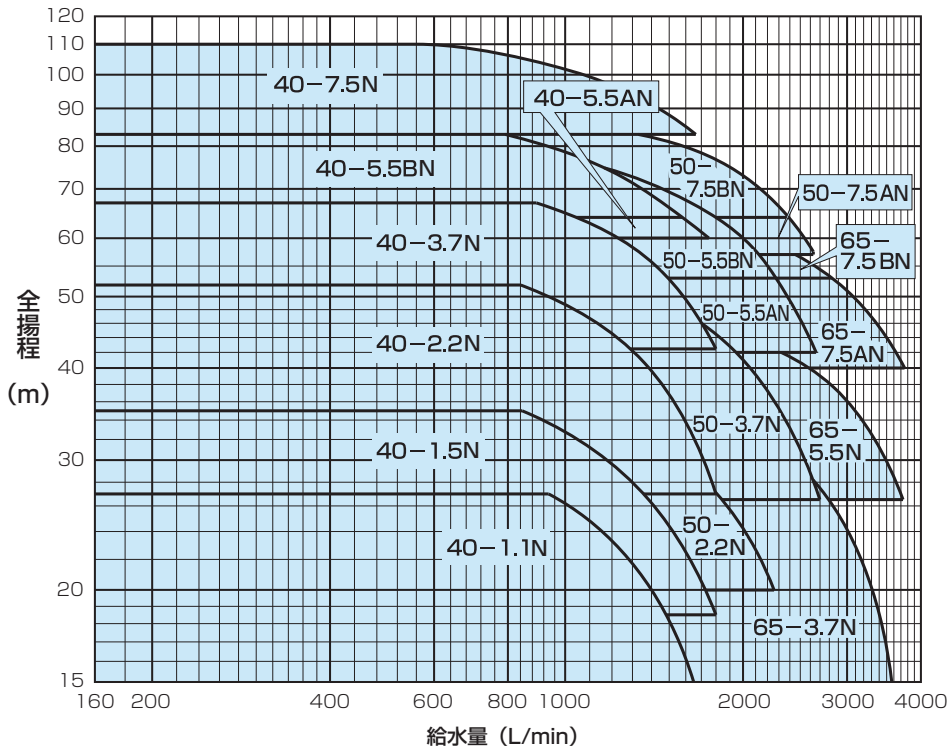
推定末端
圧力一定



- ① 水を使用しないと、配管・圧力タンクはPAに加圧されポンプは停止しています。
- ② 水を使用し、圧力がPA-3mまで低下すると、先発ポンプ(例: No.1ポンプ)が始動します。
- ③ 使用水量の増減によって、回転速度を制御し推定末端圧力一定制御を行います。
- ④ 使用水量が減少すると所定時間経過後、PAの圧力でポンプは的確に停止します。

- ⑤ 先発ポンプがローテーションし上記の運転を繰り返します。(例: No.1→No.2→No.3→No.4→No.5→No.6→No.1)
- ⑥ 使用水量が増大し、先発ポンプが最高回転速度に達すると、待機中の2台目のポンプ(例: No.2ポンプ)も始動します。更に使用水量が増大していくと最大6台までポンプが順次始動し、推定末端圧力一定制御を行います。
(例: No.1+No.2→No.1+No.2+No.3→No.1+No.2+No.3+No.4→No.1+No.2+No.3+No.4+No.5→No.1+No.2+No.3+No.4+No.5+No.6)
- ⑦ 使用水量が減少していくと後発ポンプが順次停止します。
- ⑧ 故障時切換
運転中に過負荷、吐出し圧力低下、漏電、インバータトリップを検知すると、自動的に待機中のポンプに切替え、バックアップ運転を行います。

■選定図 6台ローテーション・6台並列運転形 BNYME型



BL認定機種: 全機種 (BLマーク証紙貼付が必要な場合、その旨ご指示下さい。特殊仕様となります。)

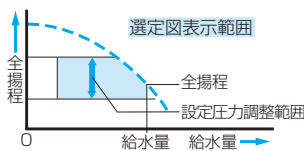
推定末端
圧力一定

■仕様表

呼び口径(mm) 吸込口径	吐出し口径	機名	相・電圧	呼び出力 kW	標準仕様		設定圧力調整範囲 MPa(kgf/cm ²)	圧力タンク封入圧力 MPa(kgf/cm ²)	使用ポンプ機名	騒音値 dB(A)	力率 %
					給水量 L/min	全揚程 m					
40	100	40BNYME1.1N	三相200/220V*	1.1×6	1650	15.0	0.15~0.26{1.5~2.7}	0.098{1.0}	40MDPE261.1	56	89.9
		40BNYME1.5N		1.5×6	1800	18.5	0.18~0.34{1.85~3.5}	0.15{1.5}	40MDPE261.5	60	86.9
		40BNYME2.2N		2.2×6	1800	27.0	0.26~0.51{2.7~5.2}	0.20{2.0}	40MDPE362.2	61	88.8
		40BNYME3.7N		3.7×6	1800	42.5	0.42~0.66{4.25~6.7}	0.25{2.5}	40MDPE363.7B		90.7
		40BNYME5.5AN		5.5×6	1752	60.0	0.59~0.63{6.0~6.4}	0.29{3.0}	40MDPE365.5	72	91.3
		40BNYME5.5BN			1584	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}	40MDPE365.5	72	91.3
		40BNYME7.5N		7.5×6	1650	83.0	0.81~1.08{8.3~11}		0.54{5.5}	40MDPE467.5	73
50	100	50BNYME2.2N	三相200/220V*	2.2×6	2256	20.0	0.20~0.31{2.0~3.2}	0.098{1.0}	50MDPE262.2	64	88.8
		50BNYME3.7N		3.7×6	2700	26.5	0.26~0.51{2.65~5.2}	0.20{2.0}	50MDPE263.7B	67	90.7
		50BNYME5.5AN		5.5×6	2664	42.0	0.41~0.52{4.2~5.3}	0.29{3.0}	50MDPE365.5	73	91.3
		50BNYME5.5BN			2286	53.0	0.52~0.75{5.3~7.6}	0.49{5.0}	50MDPE365.5	73	91.3
		50BNYME7.5AN		7.5×6	2640	57.5	0.56~0.63{5.75~6.4}	0.29{3.0}	50MDPE367.5	78	91.1
		50BNYME7.5BN		7.5×6	2400	64.0	0.63~0.81{6.4~8.3}	0.54{5.5}	50MDPE367.5	78	91.1
65	125	65BNYME3.7N	三相200/220V*	3.7×6	3600	15.0	0.15~0.36{1.5~3.7}	0.098{1.0}	65MDPE253.7	68	90.7
		65BNYME5.5N		5.5×6	3768	26.5	0.26~0.46{2.65~4.7}	0.15{1.5}	65MDPE265.5	75	91.9
		65BNYME7.5AN		7.5×6	3780	40.0	0.39~0.52{4.0~5.3}	0.25{2.5}	65MDPE367.5	79	91.1
		65BNYME7.5BN			2796	53.0	0.52~0.63{5.3~6.4}	0.44{4.5}	65MDPE367.5		

- 注) ①停止圧力は設定圧力を越えることはありません。
 ②*機種65BNYME3.7Nは、50/60Hz共に三相・200Vとなります。
 ③騒音値は工場の無響室の機側1mで測定した値です。現場での実際の騒音値は機器の据付け状態、床、天井、壁などの反射音、バルブ、配管の流水音が加わり上記の値より大きくなります。
 ④力率は最大回転速度（最大負荷時）の工場における測定値です。実際の現場では、電源側条件などにより変化する場合があります。

●選定図・仕様表の見方

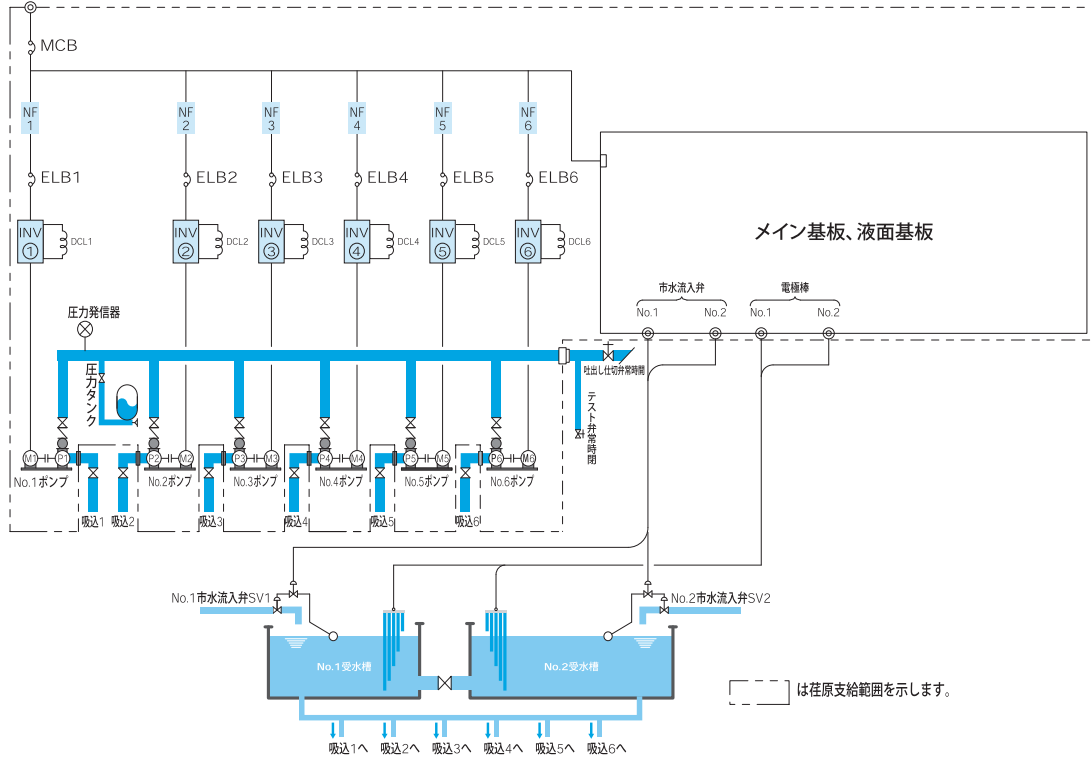


- ①全揚程は設定圧力調整範囲を表示しています。
 ②全揚程はポンプ性能よりフロースイッチ、チェック弁の損失水頭を引いたもので表示してあります。
 ③停止圧力は設定圧力を越えることはありません。
 ④表示圧力は吸込圧力0mの場合の値を示します。吸込側の条件により値は変わります。
 ⑤圧力0.098MPa {1kgf/cm²} は水頭10mに相当します。

■機器内訳

- ポンプ(6台) ●圧力タンク(ダイヤフラムタンク10L) ●フロースイッチ(6個) ●サーミスタ(6個)
- チェック弁(6個) ●圧力タンク用ボール弁 ●圧力センサ ●吐出し集合管 ●仕切弁(6個) ●呼水栓(6個)
- ユニットベース ●制御盤 ●相フランジ

■フローシート〔例：ポンプ6台形〕

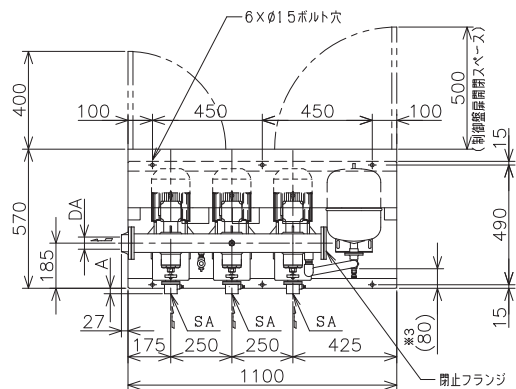
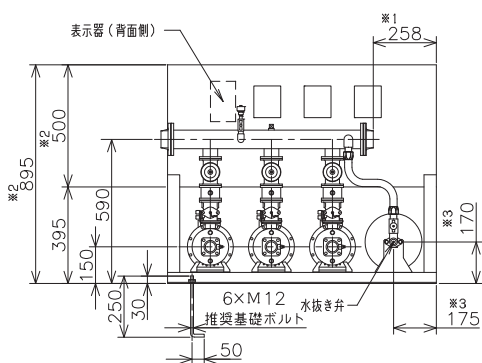


■外形寸法図

●3台ローテーション・2台並列運転形 (BNEME型) / 3台並列運転形 (BNLME型)

口径32機種

推定末端
圧力一定



- 注) ①吐出し方向をポンプ吸込み側から見て右側に変更する場合は、閉止フランジ及び、吐出し相フランジをパッキンと共に取り外し取付け面を交換してください。この時、吐出し面は※1の寸法となります。
- ②※2は標準仕様制御盤の高さ寸法を示しています。特殊仕様制御盤は寸法が異なる場合がありますので、詳細の寸法は制御盤の外形図を参照してください。
- ③※3はドレン位置を示しています。また、() 寸法は概略値となります。
ドレン配管を施工される場合は、水抜き弁を取り外し、ドレン弁を設置した上で配管してください。配管径は3/8Bとなります。

2台並列運転形

単位：mm

機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	A	質量 kg
32BNEME0.75N	0.75×2	Rc 1 1/4	Rc 2	-68	230
32BNEME1.1AN	1.1×2			-38	245
32BNEME1.1BN				22	250

3台並列運転形

単位：mm

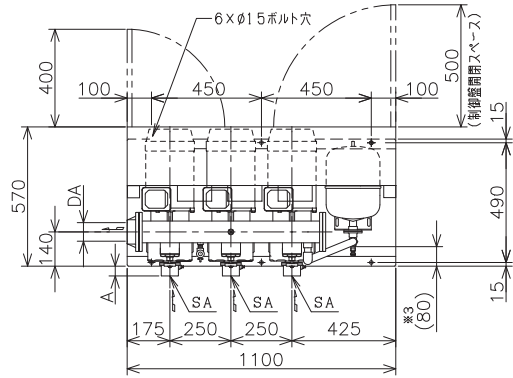
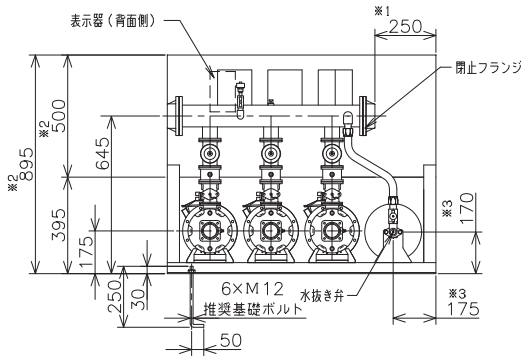
機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	A	質量 kg
32BNLME0.75N	0.75×3	Rc 1 1/4	Rc 2	-68	230
32BNLME1.1AN	1.1×3			-38	245
32BNLME1.1BN				22	250

■外形寸法図

●3台ローテーション・2台並列運転形 (BNEME型) / 3台並列運転形 (BNLME型)

推定末端
圧力一定

口径40/50、3.7kW以下機種



- 注) ①吐出し方向をポンプ吸込み側から見て右側に変更する場合は、閉止フランジ及び、吐出し相フランジをパッキンと共に取り外し取付け面を交換してください。この時、吐出し面は※1の寸法となります。
- ②※2は標準仕様制御盤の高さ寸法を示しています。特殊仕様制御盤は寸法が異なる場合がありますので、詳細の寸法は制御盤の外形図を参照してください。
- ③※3はドレン位置を示しています。また、() 寸法は概略値となります。
- ドレン配管を施工される場合は、水抜き弁を取り外し、ドレン弁を設置した上で配管してください。配管径は3/8Bとなります。

2台並列運転形

単位：mm

機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	A	質量 kg
40BNEME1.1N	1.1×2	Rc 1 1/2	Rc 3	-2	270
40BNEME1.5N	1.5×2				290
40BNEME2.2N	2.2×2			305	
40BNEME3.7N	3.7×2			340	
50BNEME2.2N	2.2×2			300	
50BNEME3.7N	3.7×2	Rc 2	-2	330	

3台並列運転形

単位：mm

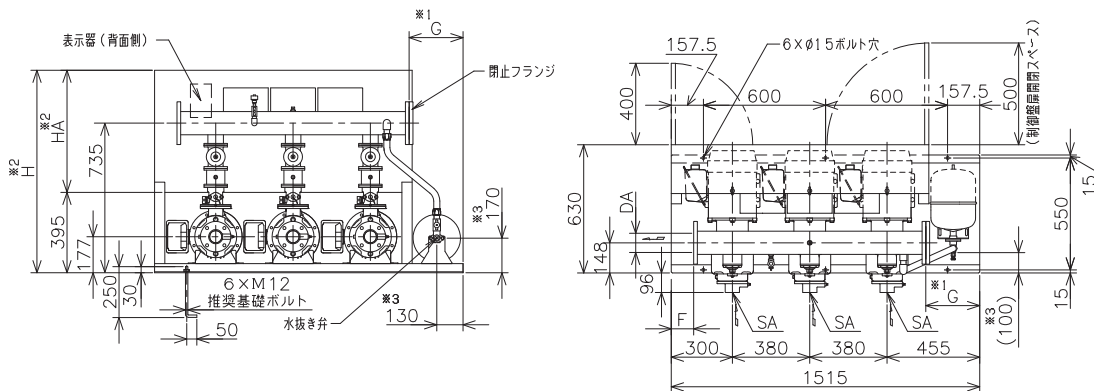
機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	A	質量 kg
40BNLME1.1N	1.1×3	Rc 1 1/2	Rc 3	-2	270
40BNLME1.5N	1.5×3				290
40BNLME2.2N	2.2×3			305	
40BNLME3.7N	3.7×3			340	
50BNLME2.2N	2.2×3			300	
50BNLME3.7N	3.7×3	Rc 2	-2	330	

■外形寸法図

●3台ローテーション・2台並列運転形 (BNEME型) / 3台並列運転形 (BNLME型)

5.5/7.5kW機種及び型式65-3.7

推定末端
圧力一定



- 注) ①吐出し方向をポンプ吸込み側から見て右側に変更する場合は、閉止フランジ及び、口径40、50機種は吐出し相フランジもパッキンと共に取り外し取付け面を交換してください。この時、吐出し面は※1の寸法となります。
 ②※2は標準仕様制御盤の高さ寸法を示しています。特殊仕様制御盤は寸法が異なる場合がありますので、詳細の寸法は制御盤の外形図を参照してください。
 ③※3はドレン位置を示しています。また、() 寸法は概略値となります。
 ドレン配管を施工される場合は、水抜き弁を取り外し、ドレン弁を設置した上で配管してください。配管径は3/8Bとなります。
 ④※4吐出しフランジはJIS10K並形となります。

2台並列運転形

単位：mm

機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	H	HA	F	G	質量 kg
40BNEME5.5 ^A / _B N	5.5×2	Rc 1 1/2	Rc 3	945	550	60	215	505
40BNEME7.5N	7.5×2							545
50BNEME5.5 ^A / _B N	5.5×2	Rc 2	Rc 3	945	550	60	215	505
50BNEME7.5 ^A / _B N	7.5×2							530
65BNEME3.7N	3.7×2	Rc 2 1/2	100 ^{*4}	895	500	110	265	435
65BNEME5.5N	5.5×2			945	550			510
65BNEME7.5 ^A / _B N	7.5×2			945	550			535

3台並列運転形

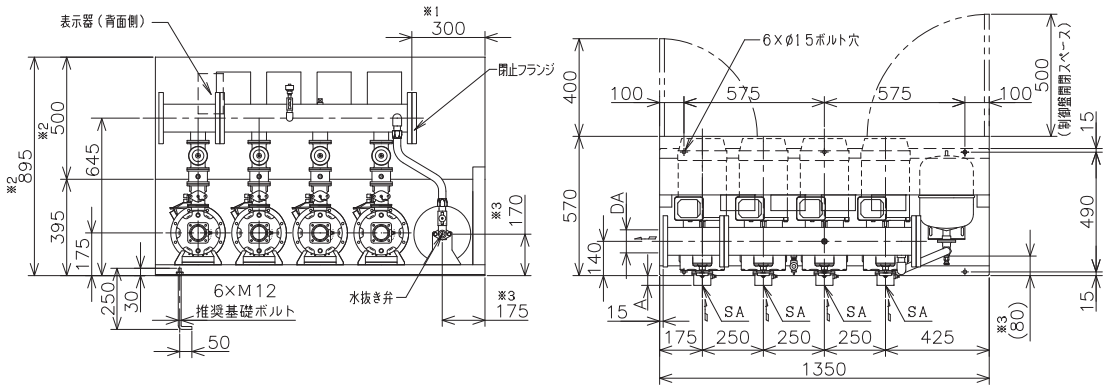
単位：mm

機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	H	HA	F	G	質量 kg
40BNLME5.5 ^A / _B N	5.5×3	Rc 1 1/2	Rc 3	945	550	60	215	505
40BNLME7.5N	7.5×3							545
50BNLME5.5 ^A / _B N	5.5×3	Rc 2	Rc 3	945	550	60	215	505
50BNLME7.5 ^A / _B N	7.5×3							530
65BNLME3.7N	3.7×3	Rc 2 1/2	100 ^{*4}	895	500	110	265	435
65BNLME5.5N	5.5×3			945	550			510
65BNLME7.5 ^A / _B N	7.5×3			945	550			535

■外形寸法図

●4台ローテーション・3台並列運転形 (BNGME型) / 4台並列運転形 (BNKME型)

口径40/50、3.7kW以下機種



- 注) ①吐出し方向をポンプ吸込み側から見て右側に変更する場合は、閉止フランジ及びパッキンを取り外し取付け面を交換してください。この時、吐出し面は※1の寸法となります。
- ②※2は標準仕様制御盤の高さ寸法を示しています。特殊仕様制御盤は寸法が異なる場合がありますので、詳細の寸法は制御盤の外形図を参照してください。
- ③※3はドレン位置を示しています。また、() 寸法は概略値となります。
ドレン配管を施工される場合は、水抜き弁を取り外し、ドレン弁を設置した上で配管してください。配管径は3/8Bとなります。
- ④吐出しフランジはJIS10K並形となります。

3台並列運転形

単位：mm

機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	A	質量 kg
40BNGME1.1N	1.1×3	Rc 1 1/2	100	-2	360
40BNGME1.5N	1.5×3				380
40BNGME2.2N	2.2×3			405	
40BNGME3.7N	3.7×3			445	
50BNGME2.2N	2.2×3	Rc 2		-2	395
50BNGME3.7N	3.7×3				435

4台並列運転形

単位：mm

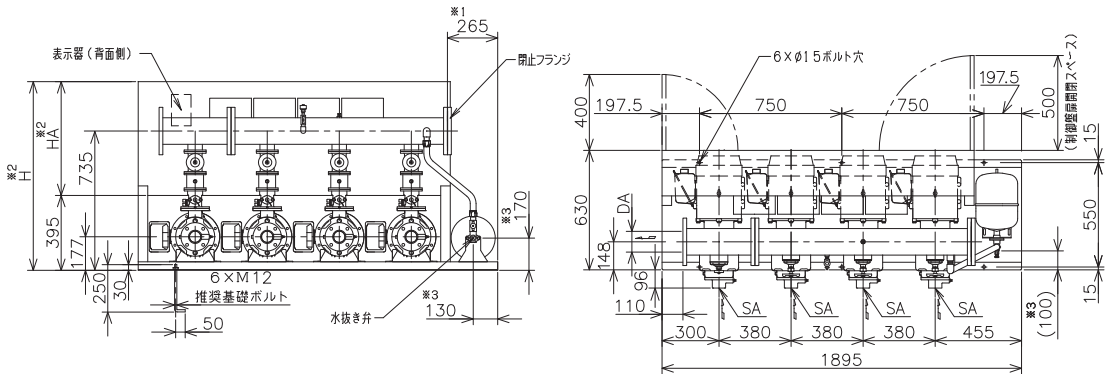
機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	A	質量 kg
40BNKME1.1N	1.1×4	Rc 1 1/2	100	-2	360
40BNKME1.5N	1.5×4				380
40BNKME2.2N	2.2×4			405	
40BNKME3.7N	3.7×4			445	
50BNKME2.2N	2.2×4	Rc 2		-2	395
50BNKME3.7N	3.7×4				435

■外形寸法図

●4台ローテーション・3台並列運転形 (BNGME型) / 4台並列運転形 (BNKME型)

5.5/7.5kW機種及び型式65-3.7

推定末端
圧力一定



- 注) ①吐出し方向をポンプ吸込み側から見て右側に変更する場合は、閉止フランジ及びパッキンを取り外し取付け面を交換してください。この時、吐出し面は※1の寸法となります。
- ②※2は標準仕様制御盤の高さ寸法を示しています。特殊仕様制御盤は寸法が異なる場合がありますので、詳細の寸法は制御盤の外形図を参照してください。
- ③※3はドレン位置を示しています。また、() 寸法は概略値となります。
ドレン配管を施工される場合は、水抜き弁を取り外し、ドレン弁を設置した上で配管してください。配管径は3/8Bとなります。
- ④吐出しフランジはJIS10K並形となります。

3台並列運転形

単位：mm

機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	H	HA	質量 kg
40BNGME5.5 ⁴ /eN	5.5×3	Rc 1 1/2	100	945	550	670
40BNGME7.5N	7.5×3					725
50BNGME5.5 ⁴ /eN	5.5×3	Rc 2				670
50BNGME7.5 ⁴ /eN	7.5×3					705
65BNGME3.7N	3.7×3	Rc 2 1/2	125	895	500	585
65BNGME5.5N	5.5×3			945	550	685
65BNGME7.5 ⁴ /eN	7.5×3		715			

4台並列運転形

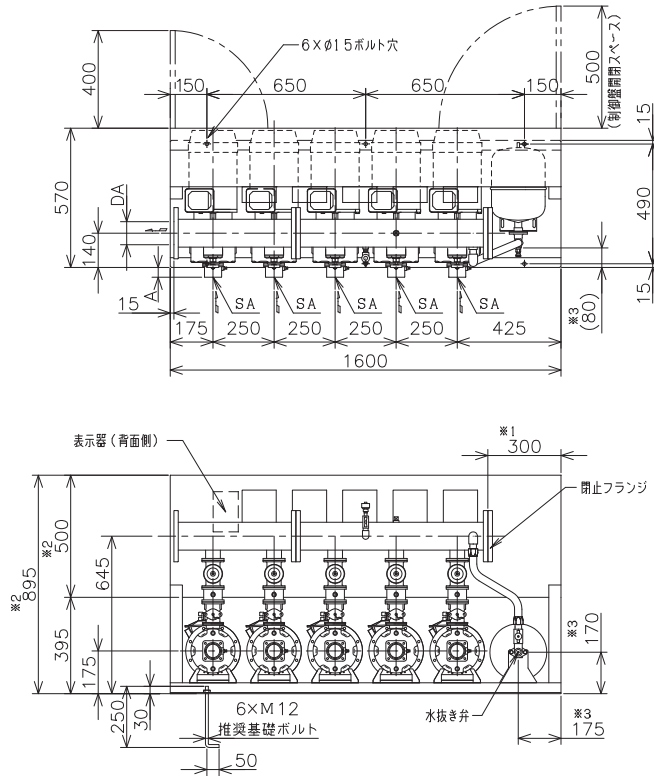
単位：mm

機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	H	HA	質量 kg
40BNKME5.5 ⁴ /eN	5.5×4	Rc 1 1/2	100	945	550	670
40BNKME7.5N	7.5×4					725
50BNKME5.5 ⁴ /eN	5.5×4	Rc 2				670
50BNKME7.5 ⁴ /eN	7.5×4					705
65BNKME3.7N	3.7×4	Rc 2 1/2	125	895	500	585
65BNKME5.5N	5.5×4			945	550	685
65BNKME7.5 ⁴ /eN	7.5×4		715			

■外形寸法図

●5台ローテーション・4台並列運転形 (BNNME型) / 5台並列運転形 (BNVME型)

口径40/50、3.7kW以下機種



- 注) ①吐出し方向をポンプ吸込み側から見て右側に変更する場合は、閉止フランジ及びパッキンを取り外し取付け面を交換してください。この時、吐出し面は※1の寸法となります。
- ②※2は標準仕様制御盤の高さ寸法を示しています。特殊仕様制御盤は寸法が異なる場合がありますので、詳細の寸法は制御盤の外形図を参照してください。
- ③※3はドレン位置を示しています。また、() 寸法は概略値となります。
ドレン配管を施工される場合は、水抜き弁を取り外し、ドレン弁を設置した上で配管してください。配管径は3/8Bとなります。
- ④吐出しフランジはJIS10K並形となります。

4台並列運転形

単位：mm

機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	A	質量 kg
40BNNME1.1N	1.1×4	Rc 1 1/2	100	-2	445
40BNNME1.5N	1.5×4				470
40BNNME2.2N	2.2×4			40	505
40BNNME3.7N	3.7×4				550
50BNNME2.2N	2.2×4	Rc 2		-2	490
50BNNME3.7N	3.7×4				540

5台並列運転形

単位：mm

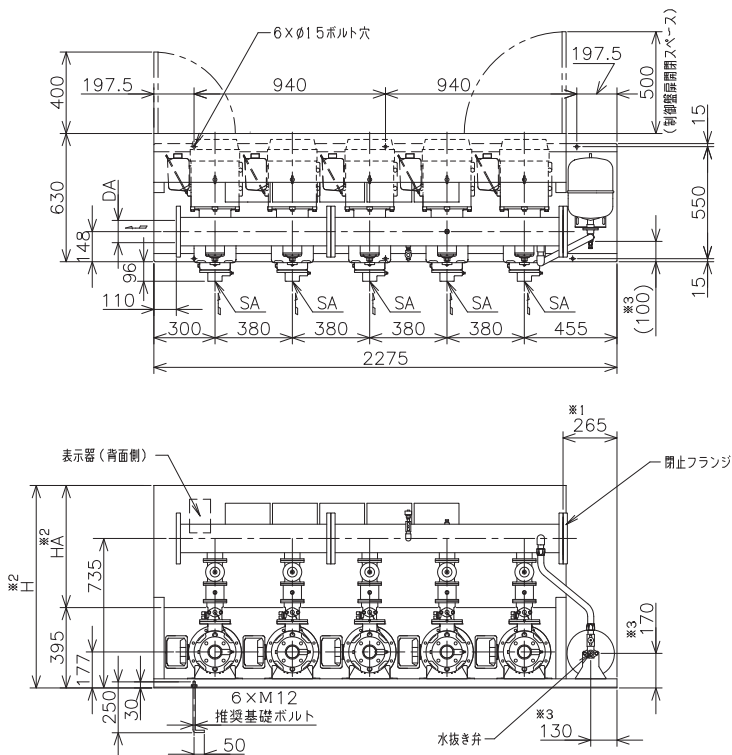
機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	A	質量 kg
40BNVME1.1N	1.1×5	Rc 1 1/2	100	-2	445
40BNVME1.5N	1.5×5				470
40BNVME2.2N	2.2×5			40	505
40BNVME3.7N	3.7×5				550
50BNVME2.2N	2.2×5	Rc 2		-2	490
50BNVME3.7N	3.7×5				540

■外形寸法図

●5台ローテーション・4台並列運転形 (BNNME型) / 5台並列運転形 (BNVME型)

5.5/7.5kW機種及び型式65-3.7

推定末端
圧力一定



- 注) ①吐出し方向をポンプ吸込み側から見て右側に変更する場合は、閉止フランジ及びパッキンを取り外し取付け面を交換してください。この時、吐出し面は※1の寸法となります。
- ②※2は標準仕様制御盤の高さ寸法を示しています。特殊仕様制御盤は寸法が異なる場合がありますので、詳細の寸法は制御盤の外形図を参照してください。
- ③※3はドレン位置を示しています。また、() 寸法は概略値となります。
ドレン配管を施工される場合は、水抜き弁を取り外し、ドレン弁を設置した上で配管してください。配管径は3/8Bとなります。
- ④吐出しフランジはJIS10K並形となります。

4台並列運転形

単位：mm

機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	H	HA	質量 kg
40BNNME5.5%eN	5.5×4	Rc 1 1/2	100	945	550	830
40BNNME7.5N	7.5×4					895
50BNNME5.5%eN	5.5×4	Rc 2	100	945	550	830
50BNNME7.5%eN	7.5×4					870
65BNNME3.7N	3.7×4	Rc 2 1/2	125	945	550	725
65BNNME5.5N	5.5×4					845
65BNNME7.5%eN	7.5×4					890

5台並列運転形

単位：mm

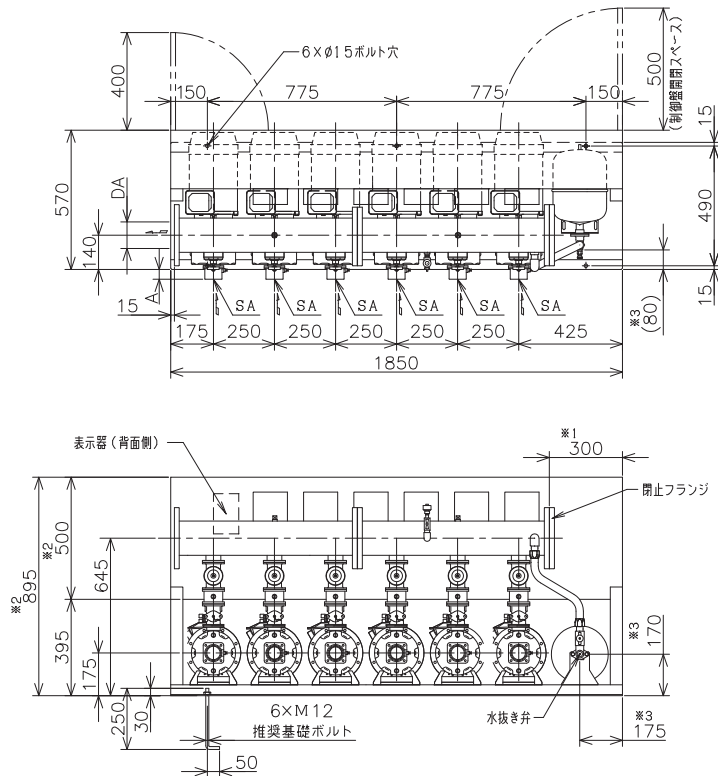
機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	H	HA	質量 kg
40BNVME5.5%eN	5.5×5	Rc 1 1/2	100	945	550	830
40BNVME7.5N	7.5×5					895
50BNVME5.5%eN	5.5×5	Rc 2	100	945	550	830
50BNVME7.5%eN	7.5×5					870
65BNVME3.7N	3.7×5	Rc 2 1/2	125	945	550	725
65BNVME5.5N	5.5×5					845
65BNVME7.5%eN	7.5×5					890

■外形寸法図

●6台ローテーション・5台並列運転形 (BNWME型) / 6台並列運転形 (BNYME型)

口径40/50、3.7kW以下機種

推定末端
圧力一定



- 注) ①吐出し方向をポンプ吸込み側から見て右側に変更する場合は、閉止フランジ及びパッキンを取り外し取付け面を交換してください。この時、吐出し面は※1の寸法となります。
- ②※2は標準仕様制御盤の高さ寸法を示しています。特殊仕様制御盤は寸法が異なる場合がありますので、詳細の寸法は制御盤の外形図を参照してください。
- ③※3はドレン位置を示しています。また、() 寸法は概略値となります。
- ドレン配管を施工される場合は、水抜き弁を取り外し、ドレン弁を設置した上で配管してください。配管径は3/8Bとなります。
- ④吐出しフランジはJIS10K並形となります。

5台並列運転形

単位：mm

機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	A	質量 kg
40BNWME1.1N	1.1×5	Rc 1 1/2	125	-2	510
40BNWME1.5N	1.5×5				540
40BNWME2.2N	2.2×5			40	575
40BNWME3.7N	3.7×5				650
50BNWME2.2N	2.2×5			Rc 2	-2
50BNWME3.7N	3.7×5	635			

6台並列運転形

単位：mm

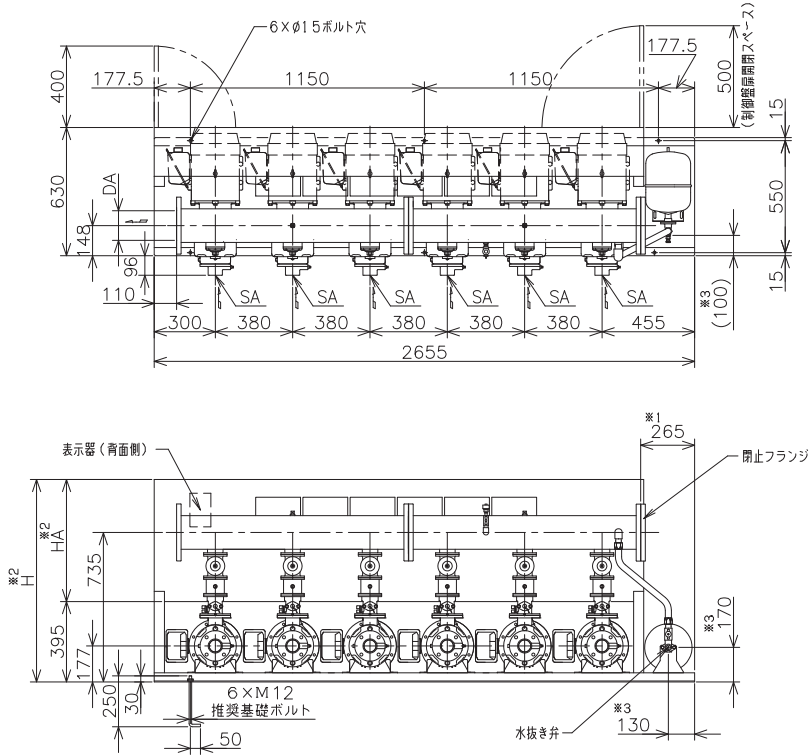
機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	A	質量 kg
40BNYME1.1N	1.1×6	Rc 1 1/2	125	-2	510
40BNYME1.5N	1.5×6				540
40BNYME2.2N	2.2×6			40	575
40BNYME3.7N	3.7×6				650
50BNYME2.2N	2.2×6			Rc 2	-2
50BNYME3.7N	3.7×6	635			

■外形寸法図

●6台ローテーション・5台並列運転形 (BNWME型) / 6台並列運転形 (BNYME型)

5.5/7.5kW機種及び型式65-3.7

推定末端
圧力一定



- 注) ①吐出し方向をポンプ吸込み側から見て右側に変更する場合は、閉止フランジ及びパッキンを取り外し取付け面を交換してください。この時、吐出し面は※1の寸法となります。
- ②※2は標準仕様制御盤の高さ寸法を示しています。特殊仕様制御盤は寸法が異なる場合がありますので、詳細の寸法は制御盤の外形図を参照してください。
- ③※3はドレン位置を示しています。また、() 寸法は概略値となります。
ドレン配管を施工される場合は、水抜き弁を取り外し、ドレン弁を設置した上で配管してください。配管径は3/8Bとなります。
- ④吐出しフランジはJIS10K並形となります。

5台並列運転形

単位：mm

機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	H	HA	質量 kg
40BNWME5.5% _N	5.5×5	Rc 1 1/2	125	945	550	980
40BNWME7.5 _N	7.5×5					1080
50BNWME5.5% _N	5.5×5	Rc 2	125	945	550	980
50BNWME7.5% _N	7.5×5					1050
65BNWME3.7 _N	3.7×5	Rc 2 1/2	150	895	500	855
65BNWME5.5 _N	5.5×5					990
65BNWME7.5% _N	7.5×5			1060		

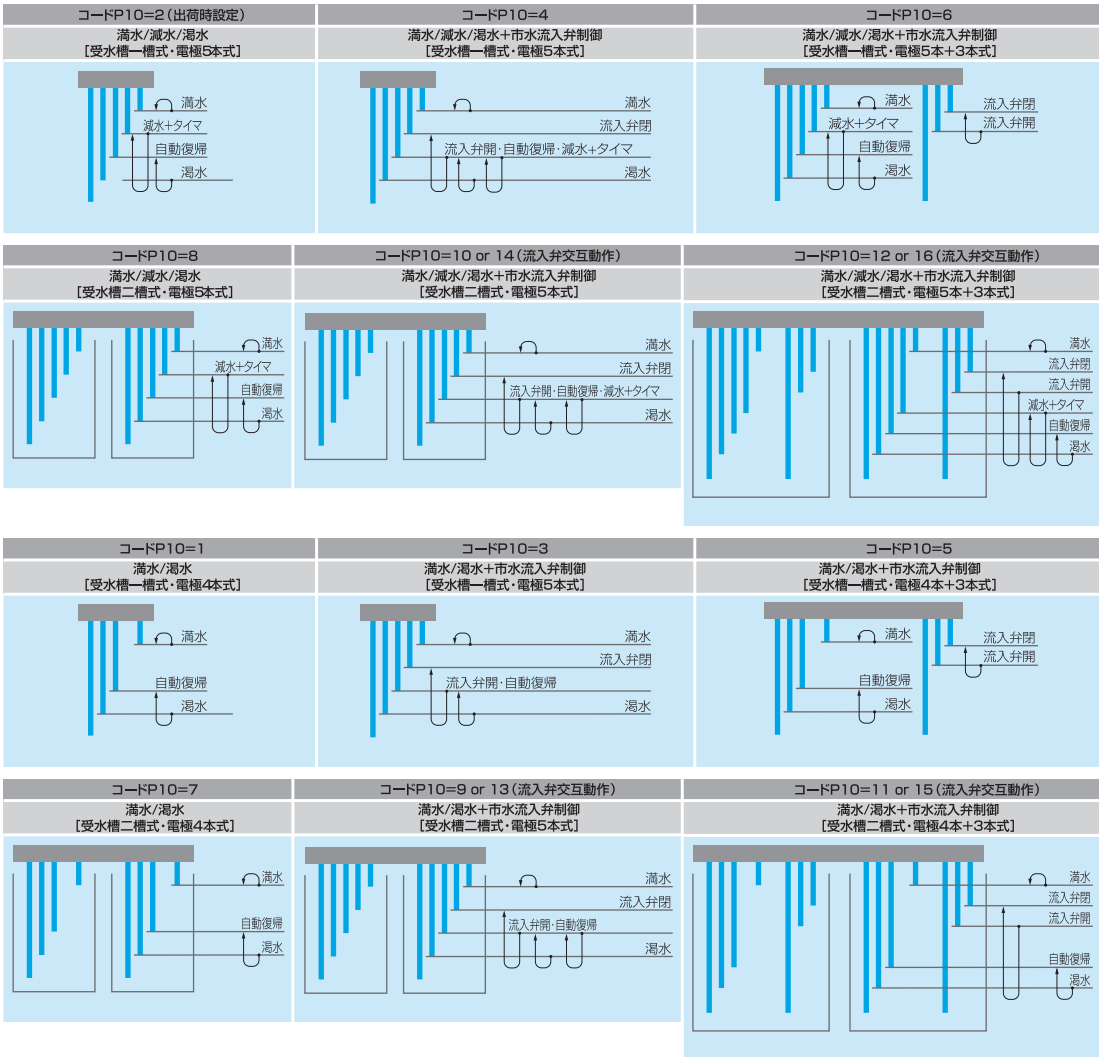
6台並列運転形

単位：mm

機名	呼び出力kW	吸込口径 SA	吐出し口径 DA	H	HA	質量 kg
40BNYME5.5% _N	5.5×6	Rc 1 1/2	125	945	550	980
40BNYME7.5 _N	7.5×6					1080
50BNYME5.5% _N	5.5×6	Rc 2	125	945	550	980
50BNYME7.5% _N	7.5×6					1050
65BNYME3.7 _N	3.7×6	Rc 2 1/2	150	895	500	855
65BNYME5.5 _N	5.5×6					990
65BNYME7.5% _N	7.5×6			1060		

●受水槽水位制御

設定コード“P10”の設定値を変更することによって、下記方式から選択することができます。



項目	表示	動作	外部出力	ブザー発声
満水水位	満水	満水水位以上で動作	有	有
減水水位*	減水	減水水位以下で動作	有	有
渴水水位	渴水	渴水水位以下で動作	有	有
市水流入弁動作	—	流入弁動作水位以下	有	—

*減水は、タイマ制御で検出していますので、ポンプ吐出し量が受水槽への流入量より多い場合には、渴水表示が先にでることがあります。

推定末端
圧力一定

■インバータ駆動による高調波について

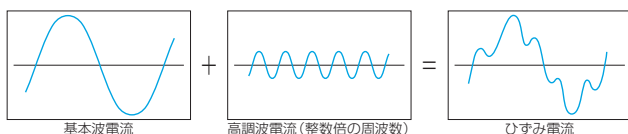
フレッシュャー3100は電動機をインバータ駆動しているため、高調波が発生します。

この高調波を抑制し、さらに力率改善を行うために、本装置のインバータ一次側にDCリアクトルを標準で接続しております。(DCリアクトルで高調波対策と力率改善の両方の効果があります。)

高調波とは

電力会社から供給される商用電源の正弦波を基本波といい、この基本波の整数倍の周波数をもつ正弦波を高調波といいます。基本波に高調波が加わった電源波形はひずみ波形となります。機器の回路に整流回路を含みリアクトルやコンデンサを利用した平滑回路がある場合、入力電流波形がひずみ、高調波が発生します。高調波は電線を伝わり他の設備や機器に次のような影響を及ぼす場合があります。

- ①機器への高調波電流の流入による異音、振動、焼損等
- ②機器へ高調波電圧が加わることによる誤動作等



1.高調波対策

インバータにDCリアクトルを接続し、高調波を抑制します。

本装置はDCリアクトルを標準装備していますので、一般社団法人日本電機工業会が定めた“汎用インバータ(入力電流20A以下)の高調波抑制指針”に適合します。

2.力率改善対策

インバータ駆動される電動機の端子間に、力率改善を目的に進相コンデンサを接続した場合、インバータ出力に含まれる高調波電圧のために、コンデンサに大きな高調波電流が流れ、インバータ内部パワー半導体素子及び進相コンデンサの破損にいたるおそれがあります。インバータ駆動で力率改善するためには、高調波を抑制する必要があります。インバータ一次側にDCリアクトルを接続し対策します。

本装置はDCリアクトルを標準装備しており、力率は85.5%以上となります。